

會

報

第

15

号



滋賀県レイカディア大学同窓会

次

目

同窓会報十五号の発刊に寄せて	滋賀県レイカディア大学	1
会長就任に当たりて	学長 稲葉	3
故安倍勉前会長を偲んで	同窓会会長 野中	3
支部活動	近江八幡支部長 佐々木	4
大津支部	尚 一	6
湖南支部		9
守山・野洲支部		13
甲賀支部		17
近江八幡支部		19
中部支部		32
湖東支部		34
湖北支部		39
高島支部		44
平成九年度定期総会議案書(資料)		47
平成九年度同窓会役員名簿		55
会 則		56
会長(副会長)の選出と同窓会の会務の運営		60
卒業生活動状況調査回答集計表		62
同窓会名簿(十八期生)		68
会員名簿正誤表		75
あとがき		79

同窓会報十五号の発刊に寄せて

この度、滋賀県レイカディア大学同窓会報が、号を重ねて十五号の発刊を数えられることになりましたことに心から敬意を表したいと存じます。

また、平素は同窓会の皆様方にはそれぞれの地域でのご活躍をはじめ、滋賀県レイカディア振興財団が実施します各種の事業に深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、高齢者の社会参加、社会活動は近年いよいよ盛んになって参っております。この、社会参加活動は学習活動の一環でもありますが、高齢者が社会参加する意義は、第一に、身体的・精神的な健康の維持であり、第二には、人との交流を通じて孤独・孤立を解消することであり、第三には、趣味や社会貢献によって自己実現することであると考えております。

社会活動のいずれにも共通点がございます。それは、「人との出会い」であります。「人」と「人」が出会い、結びつくことは活動のエネルギーとしてきわめて重要な要素であ

滋賀県レイカディア大学

学 長

稲 葉

稔

りますが、人が集まり、そこに参加したものが互いに共感することで、その集まりは自然発生的に助け合い、支え合い、問題解決のヒントを与え合うといった自助機能を持つようになって参ります。高齢者の社会参加活動は、高齢者がもっと自由で、もっと自分らしい生き方が可能になるための自助機能を備えていると言えます。

このように、高齢者が地域の主要なメンバーとして、積極的・主体的に社会参画することは、高齢者自身のみならず地域社会にとっても極めて重要な要素であると認識いたしております。

そうした活動の場を創造するという意味からすれば、これからは地域における皆様方の活躍ぶりが誰の目にも見えるような手立てが必要になってくるのではないかと考えております。もっともつと同窓会の皆様が持つておられるさまざまな活動の情報を集大成し、仲間たちに、そして広く県内にお知らせされることで互いに刺激し合い、また、励まし合って、豊かで明るくいいきいきとした長寿社会（レイ

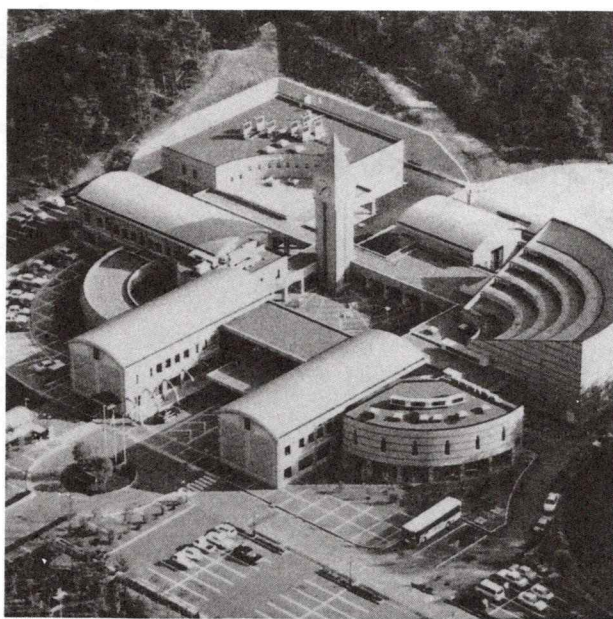
湖の理想郷 「レイカディア」の 実現を目指して



「レイカディア」は、レイク（湖）とアルカディア（古代ギリシャの理想郷とされた地名）を組み合わせた造語で〈湖の理想郷〉の意味です。

カディア）の実現に大きく寄与されるものと考えているところでございます。そのような会報になればと願って止まないところでございます。

第十五号の刊行に際してのご苦勞に感謝いたしますとともに、同窓会の皆様が、いよいよご活躍されますことを心から祈念いたしましたして、ご挨拶とさせていただきます。



会長就任に当りて

同窓会会長 野中正

今年には気圧の関係で台風の接近が多い様であり例年にな
い雨の多い此の頃、同窓会の皆様は益々ご壮健にて地域で
の活動にご活躍のこととお慶び申し上げます。

同窓会の皆様にはすでにご承知の通り、前会長故安倍勉
様病氣療養中の処、薬石の効なく去る五月三十日永眠され
ました。思えば、前会長の元にて副会長を勤めておりまし
た私は人徳智力共に優れた会長を病とはいえ失った事は誠
に残念でなりません。されど此の度は、すでに決まってお
ります、九年度同窓会総会が天津市にて六月十一日に開催
される運びになっており、急遽役員会を開き協議の結果図
らずも私が大任を受けることに相成りました。素より
その器では有りませんが前会長の残任期間を勤め、会の運
営発展のために努力致す所存であります。何卒前会長同様
にご協力とご指導を賜ります様お願い致します。

まさに人生八十年代を迎えるに当り一人ひとりが自分の
個性を生かし、お互いが相協力して地域を豊かにする社会
運動、健康づくりに取り組み新しい時代にふさわしく積極
的に推進し、同窓会憲章を思い起こし実践し、高齢社会の
リーダーとし、いきいきした生活を送れる様努力して戴き

たいものであります。

皆様のご健康とご多幸をお祈り致します。



故安倍勉前会長を偲んで

近江八幡支部長 佐々木 尚 一

去る、五月三十日午前零時に逝去された旨同町内の牧田様（十二期生）から早朝に訃報を頂きました。早速大学事務局にも葬儀の日程について対応の打ち合わせをして、また、各地の支部長にもこの事の連絡をすることにしました。

四月一日に腎臓の検査で八幡病院に入院されている事を知らされて、近江八幡支部の総会に来賓として出席のお願いを兼ねてお見舞いに参上しました処、顔色も良く本部の事務運営や総会の開催要領等について長時間色々と拝聴しました。その時に食事がどうも進まないことを案じて居られた。

その後、支部総会の状況や本部の役員会の会議の様子等をその都度お見舞いを兼ねて報告に行くと、快く対談にに応じて頂いて長居することがありました。

特に本部の総会の運営については、かなり気遣いをされておられ、野中副会長を中心に担当の天津支部の健闘と昨年度の総会担当の当支部の実績による協力を期待されています。真野課長始め阪口事務局長や各支部長がお見舞いに来られて激励をして頂いたことを感涙して喜んでおられました。

その後病状により透析を始められるようになり、お見舞いを差し控えていた処、急速に容体が悪化、薬石の効果も空しく、遂に不帰の客となられ痛恨の極みであります。

思えば平成六年四月の総会にて、中川前会長の後任として同窓会の会長に就任され、かつて滋賀県庁の要職を歴任され、その後関係団体の役員の経歴豊富な人材として最適任の会長を迎え、今後の県庁始め大学当局との折衝に大いに期待をされていたの就任だったと思います。

特に昨年度の同窓会発足十五周年の記念総会の開催と記念誌の発刊が故安倍会長の短い期間の唯一の功績と評価され、本人も精魂を尽くしての生き甲斐にされていたようです。

記念事業の趣意と委託金捻出の陳情の為に、福祉健康部長始め関係の部署に会長のお供をして県庁内を歩きました。名刺無しで即時面接出来たのには大OBの貫禄でした。この記念総会は老人大学開校の発祥地であり、同窓会が発足をした由緒ある近江八幡での開催となったのは会長には何かの因縁と想い出になって感銘をうけました。

私も以前から故安倍会長とは別の会合でもお世話になっ

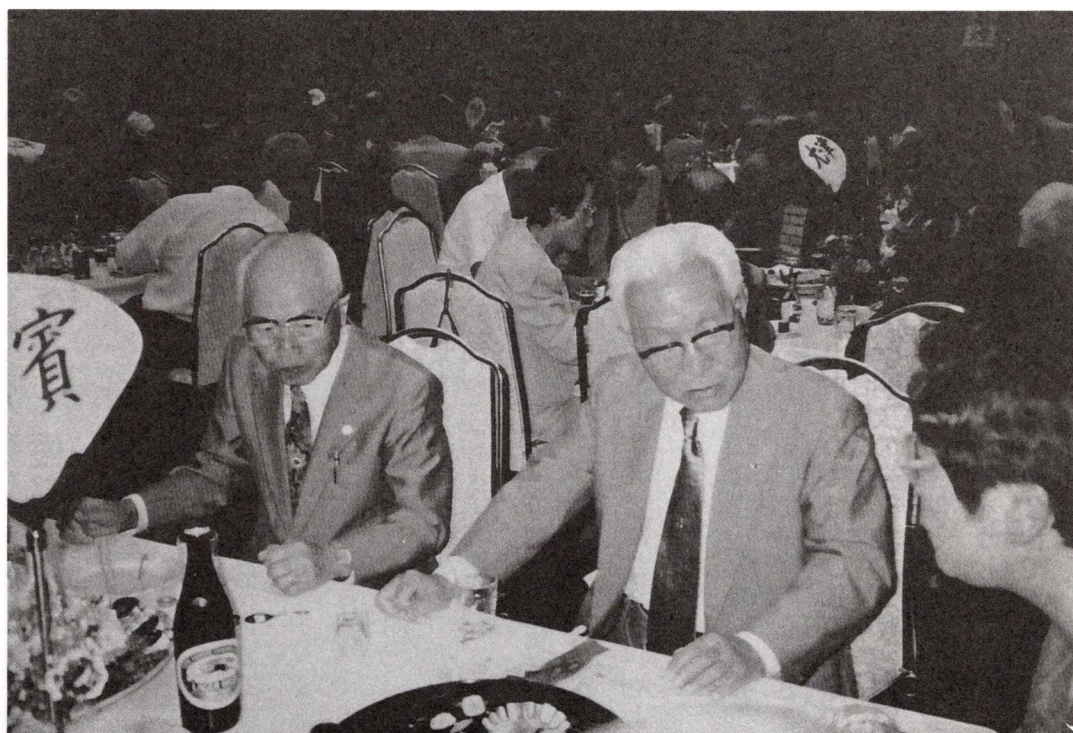
ており、又当支部の会長の時には会計を担当して、本部の会長就任の後を受けて支部の会長をお受けする事になりました。その間双方で意思の疎通を計ることで会の運営が旨く出来るようになり、お人柄に敬服することでお互いの信頼感が増幅されたことが何より嬉しいことでした。

突然の訃報により、本年度の総会も急遽役員会で野中会長の信任が決議され、大津支部の懸命の活躍によって無事盛会裡に終了した事は、故安倍会長のご加護のお陰かと感謝の念を強くしております。

従来より同窓会の運営については、安倍前会長の采配により大学事務局に殆どを委任して来た経過があり、今後の事業活動は自主的に運営をすることが本旨であり、大学の活動と共に不離一体の関係を維持しながら、故安倍会長のご遺志を継承して、私たち役員一同が総力を尽くして本会の発展と会員相互の親睦の為に全力を傾注する事が責務かと思えます。

せめて米寿まで本会の運営に貢献の願望も空しく、惜しみても帰らぬ大先輩を失い惜別の情一層の感じがあります。今幽冥を異にされても本会の益々の発展をお見守り下さい。会員一同ご冥福をお祈り申し上げます。

合掌



15周年記念総会にての、在りし日の安倍前会長（右側）

大津支部

支部長 門馬 三郎

当支部では平成八年度より会則を改めた。

先ず、「老人大学校→レイカディア大学」に変わった事で同窓会名の連動的変更。組織として地域を各中学校区単位に十三のブロックに分ける。そのブロックを北より、三箇所ずつを一グループとしA・B・C・Dの四グループとして再編した。役員として各ブロックには理事一名とその地区内で概ね小学校区単位に幹事をそのブロック内で選出する。A～Dの各グループ内で副支部長一名を選出する。

四名の副支部長の互選で支部長を決める。前任の下司支部長・高野副支部長のご努力と熱意により原案が作られた。七年度の役員により何度も役員会を開いて新しい会則案が決められた。

新しい会則に則り八年度の総会に備えて、まず、副支部長四名を決めて、それら四名と下司・高野の両氏とが数度会合して新支部長を決めた。新制度と言う事もあったが副支部長四名や支部長の決定までには時間がかかった。

私事に涉るが、在学中はのんびりと過ごした学生であったし卒業後も同窓会活動にはあまり、関わってはいなかった。

た。高齢の前任者の要請により、役を引き継いだ、新制度で下司さんのご推挙で副支部長になってしまった。そして、その互選であれよあれよと言ってる内に支部長に成らされた。支部活動に経験も少なく、自身の器量も知っていないし、参百名の頂点に立つのは躊躇された。しかし、引き受けた以上は立派に任務を完遂し、且つ会の前進を計ろうと決意した。会の要の会計職には近くの増尾さんにお引受けをして戴き安心した。

以上の経緯で平成八～九年度の組織は構成された。

八年度の支部行事

四月十三日 第十二回定期総会

(於 大津市老人福祉センター 参加者 一〇七名)

議事 決算・予算 前年度・本年度の事業

支部会則の改定 志賀町が当支部に入る

役員の改選を終わって昼食会(会費 二千元)

十月八日 親善ゲートボール大会

(於 中央練習場 参加者 二二名)

運営 林 忠勝 理事(会費 二千元)

十月二十一日 バス研修旅行

関西電力(株)大阪南港発電所 ・ 海遊館(水族館)

参加者 七六名(会費 二千元)

役員会 4/13(総会) 5/21(行事) 7/22(活動展)

8 / 28 (旅行) 9 / 3 (本部旅行) 2 / 24 (総
会)

物故者 三期園芸 北川 喜太郎

十期文芸 内山 九十八

別記

平成九年度の同窓会総会は当支部が企画・運営を引き受けることになった。前年より故安倍会長より「次期総会は是非に貴殿の天津支部で」と大変期待を掛けられていた。私としては、未だ不慣れな支部長職でもあり、スタッフ力も不十分の感もあり、遠慮したかった。しかるに、一月の役員会で天津支部に本決まりとなった。支部役員会で事情を説明し「総会運営委員会」を組織して準備を推進した。直前に安倍会長が逝去され、後任に野中副会長が会長に就任された。副会長に「天津支部長」が就任せよとの意見が出て、そう決まった。

(私が天津支部長に就いたのも、はたまた、同窓会副会長に選ばれたのも、全てが偶然の所産である。その職をこなす力量・器量は無いと、自覚はしているが、これも、神と世間が私を必要としていると信じ、その期待に応えたいと頑張っている)

又、学校事務局と同窓会の運営について、意見の不一致が生じたが総会は無事に終了した。各支部長さんより運営

につき、相当の評価とねぎらいを受けたのは嬉しかった。これも天津支部役員のご協力と感謝する所だ。



大津支部

平成9年度同窓会役員名簿

(平成9年8月末現在)

支部長	副支部長	ブロック	理 事	小学校区	幹 事	人員	男	女
門 馬 三 郎	Aグループ	志賀	中井良知		山村正雄	18	14	4
	79名	堅田	藤田直喜	真野 仰木	今井逸雄 入江有明	15	9	6
	伊藤実三	日吉	吉田歳末	阪本 雄琴	小林郁郎 辻重男	17	14	3
		唐崎	伊藤実三	唐崎	森田末雄	29	20	9
	Bグループ	皇子山	橋本宏一	比叡平 志賀 長等 藤尾	小笹英男 糸田二郎 吉田可津子 橋本宏一	30	13	17
	89名	打出	川村檜一	中央 逢坂	藤井孝一 間宮たか	26	11	15
		平野	清水定意	平野	谷本一夫	33	11	22
	Cグループ	粟津	小野次夫	膳所	深田三郎	11	6	5
	46名	北大路	林忠勝	晴嵐	高田亮子	15	6	9
	井上弘	石山	井上弘	石山	横山ハマエ	20	7	13
	Dグループ	南郷	島田岩治	南郷	信国武司 服部利	29	22	7
	91名	瀨田北	藤井喜久雄		今井富美 中辻義明 川縁和男	39	16	23
	島田岩治	瀨田	西川秀雄		坂下康雄 中川タカ	23	10	13
305名								

(顧問) 下司 清 (監事) 平井 重一・田辺 博 (会計) 増尾 一雄

湖南支部

支部長 伊藤重一

平成八年度事業

一、湖南支部総会

(一) 日時、場所、平成八年四月十七日 守山市つがやま荘

(二) 議題

(イ) 支部分離について

現支部（草津市、栗太郡、守山市、野洲郡、志賀郡）を湖南支部（草津市、栗東町）と守山、野洲支部（守山市、野洲町、中主町）に分離する。

(ロ) 平成七年度事業報告と会計決算報告

(ハ) 平成八年度事業計画案と会計予算案の審議

(ニ) 新役員の選出

以上の四議案は何れも原案通り承認を受ける。

二、支部研修旅行（守山、野洲支部と共催）

(一) 日時、場所、平成八年十月二十九日～三十日

奥矢作峽 笹戸温泉

(二) 参加者 二十八名（守山、野洲支部参加者）十三名

三、新入会者との懇談会

(一) 日時、場所、平成八年七月二十三日、草津第二

公民館

私共の湖南支部は、平成七年度の本部総会に於て会則が改正され、今迄の湖南支部（草津市、栗太郡、守山市、野洲郡、志賀郡）が、新しく湖南支部（草津市、栗東町）と、守山野洲支部（守山市、野洲町、中主町）とに分離いたしました。

そして新しく発足いたしました湖南支部の初代支部長に不肖私が就任いたすこととなり、その責任の重大さに心引き締る思いをいたしております。

平成八年度の総会後新しく就任された役員の皆様と第一回の理事会を開催し、前年度実施された事業の内容を検討してその活動の低調さを切実に痛感いたしました。

勿論、支部が二市三郡と広範囲に跨ると云う隘路がため諸事不都合が多く困難を伴う状況であったことも大きな原因でありましたが、この度の改組により問題点も取り除かれたので、これを機会に沈滞気味な支部活動の活性化を図り、平成九年度の事業計画の策定については会員諸氏の希望、意見を最大限取り入れた諸事業を展開し、活力ある楽しい支部の運営を目指して努力して行く所存であります。

(二) 参加者 二十六名

支部の現況と事業活動の内容の説明

活発な質問と意見が続出、今後の支部活動に反

映の必要を痛感、盛会裏に終了。

平成九年度事業（既に実施済みの事業を含む）

一、支部総会

(一) 日時、場所、平成九年四月二十一日

草津市 小汐井神社 参集殿

(二) 議題

(イ)平成八年度事業報告と会計決算報告

(ロ)平成九年度事業計画と会計予算の審議

(ハ)その他

本年度の事業計画と予算では支部運営の活性化を図るため、新規の事業計画を立案し説明したところ積極的多数の賛成意見あり、盛況裏に総会を終了した。

二、支部研修旅行の実施（守山、野洲支部と共催）

(一) 日時、場所、平成九年六月十三日～十四日

伊豆七滝温泉と七滝巡り

(二) 参加者三十七名（守山、野洲支部参加者）十一

名

今回の研修旅行は家族の参加もあり相互の交流

と親睦を深めた。

三、琵琶湖博物館の見学会を実施

(一) 日時、平成九年七月二十三日

(二) 参加者 十九名

蓮の花の満開時期に併せて実施したが梅雨時に珍しい晴天に恵まれ成功裏に終了した。

四、東海道草津宿の本陣と街道筋探訪を計画

実施予定 平成十年三月初旬

五、俳句短歌の吟行会の開催

実施予定 平成九年十一月下旬

六、支部主催の作品展を開催

実施予定 平成九年十二月初旬又は二月上旬

七、スポーツ交流大会を開催

実施予定 平成九年十一月初旬

八、男女交流料理教室の開設を準備

平成九年度ブロック別会員数

一、草津市

男子 五九名

女子 二八名

二、栗東町

男子 一四名

女子 五名

三、合計 一〇六名

平成九年度湖南支部役員名簿

支部長	伊藤 重一
副支部長	亀田 貢
副支部長	福井 しげの
会計	南 篠 貞雄
理事	池田 正重
	久保 治夫
	河邊 謙
	九鬼 茂隆
	小倉 商次
	大西 純一郎
監事	嶋 鐵 男
	伊藤 治初
顧問	伊藤 博祐

第三条 (準拠)

ディア大学 (以下滋レ大という) の卒業生を以つて組織する。

支部の会則は、特に定めのない限り滋レ大同窓会会則 (以下本部会則という) に準ずる。第四条 (目的)

支部の会則は本部会則に定めたるのほか、支部の事業並びに運営発展に必要な事項を定めるものとする。

第五条 (事業)

本会会則第四条の目的達成のため、第五条に基づき支部で行う事業は支部総会 (以下総会という) において定めるものとする。

第六条 (役員)

支部には次の役員を置き総会において選出する。

支部長一名 副支部長二名 会計一名 支部長、副支部長は本部理事となる。
理事 若干名 支部会員十名に対し一名の割合とする。

監事 二名

顧問 若干名置くことができる。

湖南支部会則

第一条 (名称)

本会は滋賀県レイカディア大学同窓会湖南支部 (以下支部という) と称し支部の事務局は支部長宅におく。

第二条 (会員)

支部会員は草津市、栗太郡在住の滋賀県レイカ

第七条 (役員の任務)

支部長は、支部を代表し会務を総括する。副支部長は支部長を補佐し、支部長事故あるときは、その職務を代行する。理事は支部の運営および会則第四条の目的達成の任に当たる。会計は会計事務の処理にあたる。

監事は会務及び会計を監査する。

第八条（会議）

総会は毎年一回年度はじめに開催するものとし、必要に応じて臨時総会を開くことができる。また、滋レ大同窓会の運営、事業、行事及び支部の目的事業の為、必要に応じ支部役員会を開催する。

第九条（経費及び会計年度）

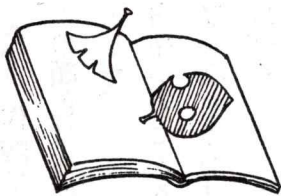
支部の経費は支部会費並びに寄付金をもってこれに充てる。支部会費は年額一、〇〇〇円とし、本部会費は本部会則の定めるところによる。支部の会計年度は毎年四月一日に始まり翌年三月末日をもって終わる。

本会則は平成八年四月一日から実施する。

平成9年8月1日現在

湖南支部地区別人員表

男女別	草津地区	栗東地区	合 計
男	59名	14名	73名
女	28名	5名	33名
合 計	87名	19名	106名



心の贅沢

ものを創造するたのしみ

支部長 中村 勝 一

「ご都合よろしければ…」と、小津楽陶会細田氏の誘いを受け私達レイカ大OBの自称陶芸家天狗どもと、市内三公民館自主教室陶芸グループの皆様との粘土遊びの交流がはじまりました。昨年八月守山市北公民館一隅に念願の陶芸用電気窯が設置されたことによる朗報でした。かねてから支部理事会の席上にも市民と共に交流の環を拡げようと云う願いから、とにかくスタートいたしました。市民個人の方達に公共の陶芸窯を自由に利用していただける受皿として陶芸サークル連絡協議会と云う組織づくりから具体的な活動に入り、本年三月中旬市図書館サロンにて連協発足記念・陶芸窯PRを兼ね「やきものと絵画展」を開催、多くの反響もあつたようでございます。

四月八日研修講座として連協会員や一般の方も含め二十四名市バスにて信楽登り窯改築の宗陶苑を見学実習を行い伝統工芸士、神山一陶先生の労を仰ぎました。六月守山の

名勝近江妙蓮公園茶室用に抹茶茶碗二十個を納品し役立てていただいた飲みも一入で、作陶でもむつかしい茶碗にチャレンジしたメンバーの顔色は如何なもの？ 私でも作りますわ！ 恐れ入りました。

お金があれば大方の商品が手に入る時代、こども達自身で考え、ものを創る喜びを楽しさを味わってもらうため、夏休みを利用し「子供創作ゼミナー」を北公民館でも開催いたしました。お父さんお母さん、お友達など皆で泥んこ遊びを恐竜・怪獣・人形に託して夢中に遊んでもらいジイジー・バアバアともども楽しい一刻をすごしました。

「千里の道も一歩から」私達の手近な所から、今後仲間づくりに励んで世代を越えた交流の輪を拡げましょう。最後に女性部のボランティア活動の一部を紹介させていただきます。

今日まで培ってきた知識や技能を一人でも多くの人に広め、地域の方々と共に活動することは自己研鑽の一つであると思います。それは経験豊かな高齢者の生甲斐でもあり、心身共に健康にもつながるものと信じます。ボランティア同志の者が集まり、守山市特別養護老人ホーム「ゆいの里」へ月一回慰問に行く事を取り定め訪問いたしております。ホームの集会場でそれぞれが用意した材料で手作りのお菓子を作り、おやつ時間を喫茶部として待ちます。紅茶・

コーヒー・お抹茶・ウーロン茶など豊富な種類を用意し、入所者各人の好みに応じた申込を受けてお菓子と共に席にお配りいたします。ほとんど申しても良い程昔懐かしい和菓子、草餅・花見だんご・ちまきなど日本の四季にちなんだメニューを考えて差し上げます。懐かしく過ごした時間や味覚のかずかずも想い出されてか、忍び泣かれる姿もお見受けいたします。月一回のお出会いも次の出会いを期待されるようになりました。その節、興もはずんで歌を私達と共に唄われるとき、やはり、幼時に帰って童謡や懐かしのメロデー、軍歌など男女ともども声高らかに合唱されます。

高齢者同志の語らいは、何時果てるともなく続き互いに心豊かな時間を過ごし、奉仕活動を行っているのは誰方?とも思い反って慰められたかの様な気分になるようです。この次には何を、どのようにしてあげれば良からうか、と迷う今日此の頃です。一般に女性の方はどうしても消極的な行動も見受けられるようですが、男女共同参画型社会が人間生活として当然の時代に移って参ったようでございます。女性らしい特性を充分に活かし自主的活動を期待いたしております。私の拙ない体験から何か行動しようと思えば、必ず出来ると信じています。

もう高齢者社会でございます。少しでも動ける者が、動

けない方達の杖になり、お互いが自我を捨て助け合い生き生きとした楽しい日を一日でも長く続けて行きたいと念じています。



守山・野洲支部

平成9年度同窓会役員名簿

番号	氏名	期・科	住所	電話 (077)
1	井上一男	5 園	守山市	
2	支部長 中村勝一	9 陶	守山市	
3	副支部長 山本てる	9 生	守山市	
4	竹林治平	10 園	守山市	
5	團野清一	11 園	守山市	
6	北村隆	15 園	守山市	
7	会計 木林久美子	15 生	守山市	
8	富田もとよ	6 生	野洲町	
9	石井也尺寿	7 園	野洲町	
10	副支部長 田村進	12 陶	野洲町	
11	辻本昇	13 陶	野洲町	
12	東出昌子	16 生	野洲町	
13	田中一男	9 園	中主町	
14	薄永金三	9 園	中主町	

守山・野洲支部会則

第一条 (名称)

本会は滋賀県レイカディア大学同窓会守山・野洲支部(以下「支部」という)と称する。支部の事務局は支部長宅におく。

第二条 (会員)

支部会員は、守山市、野洲郡在住の滋賀県レイカディア大学(以下「滋レ大」という)の卒業生を以つて組織する。

第三条 (準拠)

支部の会則は、特に定めのない限り滋レ大同窓会会則(以下「本都会則」という)に準ずる。

第四条 (目的)

支部の会則は、本都会則に定めたるもののほか、支部の事業並びに運営発展に必要な事項を定めるものとする。

第五条 (事業)

本都会則第四条の目的達成のため、第五条に基づき支部で行う事業は支部総会(以下「総会」という)において定めるものとする。

第六条 (役員)

支部に次の役員を置き、総会において選出する。
支部長一名 副支部長二名 会計一名 支部長、副

支部長は本部理事となる

理事 若干名 支部会員十名に対し一名とする。

監事 二名

第七条 (役員の仕事)

支部長は、支部を代表し会務を総括する。副支部長は支部長を補佐し、支部長事故ある時は、その職務を代行する。理事は、支部の運営及び会則第四条の目的達成の任に当たる。会計は会計事務処理にあたる。

監事は、会務及び会計を監査する。

第八条 (会議)

総会は、毎年一回年度始めに開催するものとし、必要に応じて臨時総会を開くことができる。また、滋レ大同窓会の運営、事業、行事及び支部の目的、事業の為、必要に応じ支部役員会を開催する。

第九条 (経費及び会計年度)

支部の経費は、支部会費並びに寄付金をもってこれに充てる。支部会費は、年額一人当たり金一千元とし、本都会費は本都会則の定めるところによる。支部の会計年度は、毎年四月一日に始まり翌年三月末日をもって終わる。

第十条 本会則は、平成八年四月一日から施行する。

会員の状況

(平成9年4月1日現在)

学科別 町別 男女別会員 (小さい数字 上:男 下:女)

科	町	石部	甲西	水口	土山	甲賀	甲南	信楽	計
園芸		6 0	5 3	4 2	2 0	7 0	3 0	1 0	28 5
陶芸		3 0	10 3	5 4	0 0	6 0	5 0	3 0	32 7
生活		0 0	1 1	1 3	0 3	2 2	0 2	1 2	3 13
文芸		2 2	5 8	4 2	1 0	4 0	2 0	2 0	20 12
スポーツ		0 0	0 0	0 5	0 0	2 0	0 0	0 0	2 5
計		11 2	21 15	14 16	3 3	19 2	10 2	7 2	85 42

甲賀支部

卒業期別

期生	町	石部	甲西	水口	土山	甲賀	甲南	信楽	計					
1			1 1	2 2					1 3					
2				2 2			1 1		0 3					
3	1	1		1 1					2 0					
4	1	1		1 1		1 1			2 1					
5			1 1				2 2		3 0					
6	1	1	1 1	2 2			1 1	1 1	3 2					
7	1	1	1 1	1 1		2 2	1 1		5 0					
8			4 2	6 1	1 1	2 2		1 1	7 3					
9	1	1	1 1	1 1	1 1	1 1			4 0					
10	1	1	3 2	5 1	1 1	1 1			6 2					
11	1	1	2 2	2 1	2 2	1 1	1 1	2 1	6 3					
12	1	1	3 3	3 1	1 1	2 2			4 4					
13	1	1	1 1	2 1	3 3	1 1	2 1	1 2	7 4					
14			2 1	3 1	3 4	1 1	2 2		9 2					
15	1 1	2	2 1	3 3	3 1	1 1	2 2		1 3					
16	1	1	2 2	2 4	4 1	1 1	4 2	2 2	9 5					
17	1	1	3 3	3 3	4 4	1 1	2 2	2 3	8 7					
計		11 2	21 15	36 16	14 30	3 3	6 6	19 2	21 10	12 2	7 2	9 9	85 42	127

一、役員

支部長	大林源太郎	甲賀町	(本部理事)
副支部長	今井 博	信楽町	()
〃	畑中 千代	甲南町	()
庶務会計	山階 逸夫	水口町	
監 事	真鍋 光徳	甲西町	
〃	谷口 正夫	信楽町	
理事	山本 昭一	石部町	理事 奥村 稔 石部町
〃	山本 有行	甲西町	〃 大北 忠一 甲西町
〃	藤田 利治	〃	〃 八太 利郎 〃
〃	中森 静恵	〃	〃 林 茂男 水口町
〃	坂上 八重	水口町	〃 小倉 清子 〃
〃	中島 将	〃	〃 吉田 弘 土山町
〃	福島 安男	甲賀町	〃 中井 昭二 甲賀町
〃	奥村 義雄	甲南町	〃 松岡 三男 甲南町
〃	城 宏衛	信楽町	

二、事業

当支部独特の事業はない。ただ、郡内のことをお互いにもっとよく知り、理解を深めるために、各町担当で順番に研修会を行っている。趣旨も結果もよいのであるが、担当の町の役員や会員の方は大変であるし、その町当局にも御配意を煩わすこととなる。広い範囲の方々のお蔭で成り

立っている。

平成八年度は十月に石部町で実施した。参加者が逐年増え、当年度は五十名となった。有名な長寿寺・常楽寺の国宝の堂塔をはじめ、坐像では日本最大クラスの木造阿弥陀如来像(国重文)外多数の文化価値高い諸仏像等を拝観し、甲賀郡の歴史の深さと文化の豊かさに、その都度味わう新鮮な感動を改めて味わったものである。続いて町御自慢の雨山文化運動公園では、新しい歴史街道を二百年程時間を戻して歩ませてもらった。天気にも恵まれ、なごやかな懇親会がその日の楽しさを一層高めてくれたようであった。

この中の寺院や仏像拝観は、わが甲賀郡内には、特に優れた価値ある仏像が数多く存在していること(全国的にみても有数といえる)を知り、親しみと誇りを持ち、郷土の文化を一層磨いて次代に伝えてゆくためにも、今後共統けて参りたいと思っている。

九年度は甲西町の担当で、善水寺(本堂は国宝で、仏像も国重文クラスの立派なものが多い)の拝観とタキイ農園の見学を中心に企画してもらった。善水寺は拝観を重ねる程その良さが味わえる寺である。既知も未知も挙つての参加を期待している。

近江八幡支部

近江八幡支部の事業運営と

活動状況報告について

支部長 佐々木 尚一

当支部は老人大学の開校の地でもあり、同窓会創立の伝統のある支部であるために、長年に亘って先輩達の懸命の努力によって培われて来た栄光の歴史を受け継いだ私達は、先人達の権威を汚す事なく、その発展と会員相互の親睦を計る事と併せて大学での学習で得た知識と体験を生かして地域社会に貢献することを念願にして、役員始め会員の皆様はその趣意をよく理解して事業活動に協力してくれております。

当支部の事業活動の概要を報告申し上げ、ご参考にして頂ければ幸いです。

一、平成九年度の支部総会について

恒例の支部総会は四月二十五日（金曜日）会場は坪清（例年同場所）で開催した。午前十時の開始に間に合うように、マイクロバス二台を配車して来賓、会員の集合に喜ばれました。

本年度の来賓は、行政から玉田近江八幡市長始め岡田福祉保健部長が、大堀老人会長、本部からは犬井振興財団副理事長と真野健康いきがい課長が臨席されました。

特に本部同窓会の役員の皆様にご案内をいたしました処、野中副会長始め各支部長様が快く出席されて会議に参加して頂きました。

総会の冒頭に物故者の黙禱を行って、続いて玉田市長と犬井氏より本会の発展と激励のお祝辞を頂いた後、米寿の該当者にお祝いをして、総会の議事を始めました。

通常総会における、八年度の事業並びに会計報告と九年度の事業計画と予算を夫々承認可決された後、役員改選は全員が次期も引続き留任を承認されました。

当日の会員の参加者は六十名で、各地区の役員は総会には担当地区の会員の支部会費（二千元）と当日の懇親会費を纏めて会計に渡すことになっております。

総会終了後懇親会が開始され、玉田市長始め来賓の皆様が会員と共に同席され、特に各支部長様は同期の会員連中と和やかに交歓され融和の効果がありません。例年喜んで参加されていた故安倍会長の英姿が無く哀感の情を深くしました。

二、支部会報（十六号）の発刊について

昭和五十五年十二月に比牟礼同窓会（会員数二十四名）が当地に創立されて、五十七年四月の総会に待望の創刊号が発刊されました。県庁校舎移管後に老人大同学窓会に名称が変更され、爾来同窓会の会員の増加と共に組織の維持、発展が続けられ、又会報も先輩達の並々ならぬ研鑽によって、内容の充実を計りながら発行が継続されて来ました。当支部の会報も創刊号からの伝統を継承して独自に支部会員の意欲の結集によって受け継いで来ました。昨年の十五号は八幡校舎当時の大先輩の貴重な体験記を寄稿して頂き、特集として創刊号の抜粋記事を掲載する等内容の充実した当支部に相応しい会報をお届けすることが出来ました。

なお、毎年地元企業の皆様から情報交換を兼ねて広告を協賛して頂き、紙面の充実に大変寄与して頂いております。

本年度の十六号も、福祉行政拡充の面から地元の市長始め関係の方々や大学当局の先生方、特に各支部長様からご支援の玉稿を頂き、例年の通り会員の寄稿の外に、会員相互の情報交換を兼ねて全会員に日常の処世方法についてアンケートをお願いしました。この様に号を重ねる毎に企画を充実して皆様のご期待にお応

えするよう努力をする所存です。

三、同窓会会報創刊号の抜粋記事について

昨年の当支部の会報に掲載の創刊号の抜粋の特殊記事を、改めて同窓会発足当時の先人達の健闘振りをお願して頂く事にしました。

四、当同窓会の事業活動の一部をご紹介します。

(一) 婦人部の活動について (婦人部長 伏西千代子)

* 手芸教室 (日時 六月二十日 十時～十四時)

場所 八幡中央公民館)

当日は思いもよらぬ季節はずれの台風の接近に開催が思いやられました。役員の方も心配になり問い合わせがありました。少数でも開催すると言う事で実施することにしました。悪天候にも拘らず支部長始め役員の方や会員の皆様が出席してくれました。(参加者二十名)

午前中は赤と白のフェルト生地で作る金魚です。用意した型紙で切り取って編んでゆきます。皆熱心に細工していましたが、暫くすると机の上に大小二匹の金魚が列をつくり泳ぎ始めました。男性の方達も手際良く作られており、机の列に仲間入りして上機嫌でした。一段落したところで昼食を頂きました。

午後からは手毬作りです。用意された発泡スチロー

ルの丸い玉に切目を入れて布切れを差し込んでゆきま
す。各自が持参した綺麗な模様の布切れの端布が彩り
となり見事な手毬が出来上がりました。久し振りの肩
の凝るような細工も賑やかに喋りながらの楽しい一
日でした。(昼食と材料費は支部会計負担)

(二)郷土史研修講座について (副支部長 小川常三)

*日 時 二月二十五日 十時～十二時

*場所 八幡中央公民館

*演 題 「八幡山下町成立の背景」

*参加者 四五名

*講 師 近江兄弟社高校教諭 森山宣昭先生

(郷土史研究者)

*内 容 ①近江のこの辺で七世紀頃戸籍の基本と見
られるものが出来ていた

②八世紀始め頃今でいう圃条整備が完了し
ている

③二～二、五里四方を一区画として五十戸
を入植させた

④一丁四方に畦畔を作り男子は二反、女子
は二／三反を割り当て、三％の租税を課
す

⑤境界線は用水路又は道路になっていて、

その遺構が今も残っている

⑥中世の市場、街道筋等と長命寺、八幡宮
参道、八風街道、浜街道等、現存の道路
との関連及び観音信仰による霊場巡拝と
の関連について

⑦この地域の発展段階、風土、環境の上に、
秀次公の八幡山下町の町づくりがあった。
町づくりの話は次回と言う事になった

*感 想

①地味で多少専門的すぎる話であったが、
色々の資料や地図、文献等を配布されて
良く理解出来た。

②自分の住んでいる所のお話で興味もあつ
てこれからも続けて欲しい。



近江八幡支部

平成9年度同窓会役員名簿

役職名	氏名	住所	電話番号(0748)
相談役	吉川保三郎	北末町	
〃	村井繁一	杉森町	
支部長(本部理事)	佐々木尚一	為心町	
副支部長(本部理事)	小川常三	長光寺	
〃(婦人部長)	伏西千代子	中小森	
会計	柴田実	鷹飼町	
監事	深尾源次	南津田	
婦人部顧問	富田政尾	長光寺	
〃	岡田茂子	船木町	

地区幹事・婦人部役員

地区名	氏名	住所	電話番号(0748)
八幡東	乾信雄	北之庄	
〃	石井千代子	多賀町	
八幡西	中島英三	本町三	
〃	村西好	小幡町	
八幡南	林一	土田町	
〃	玉尾孝子	〃	
島	田谷猛司	島町6	
〃	森登志枝	北津田	
岡山	深尾源次	南津田	
〃	高木ひさ子	船木町	
北里	稲田峰蔵	佐波江	
〃	中田ふみ	丸の内	
金田1班	石部八重子	上田町	
〃2班	木村三千郎	鷹飼町	
〃3班	西堀脩	西本郷	
〃4班	浅野昭	西庄町	
馬淵	足立正夫	東横関	
〃	佐橋みわ	東川町	
武佐	山路正太郎	武佐町	
〃	金子美紀	長光寺	
桐原東	谷内至	中小森	
桐原西	生田薫	緑町1	
桐原南	大黒亮蔵	若宮町	
篠原	西澤繁喜	篠原一	

近江八幡支部

地区別会員数

平成9年9月現在

地区別	会員数	男子会員	女子会員	地区担当者
八幡東	20	9	11	乾、石井
八幡西	18	6	12	中島、村西
八幡南	13	4	9	林、玉尾
島	8	7	1	田谷、森
岡山	15	8	7	深尾、高木
北里	14	9	5	稲田、中田
金田1班	7	2	5	石部
金田2班	12	10	2	木村
金田3班	5	4	1	西堀
金田4班	7	5	2	浅野
馬淵	12	8	4	足立、佐橋
武佐	18	12	6	山路、金子
桐原東	10	4	6	谷内
桐原西	10	3	7	生田
桐原南	7	6	1	大黒
篠原	8	5	3	西澤
合計	184	102	82	(18期生含む)

近江八幡支部会則

第一条 この会は滋賀県レイカディア大学同窓会近江八幡支部という。

第二条 この会は近江八幡市在住の滋賀県老人大学および滋賀県レイカディア大学卒業生を以つて会員とする。

第三条 この会の事務所を会長宅に置く。

第四条 この会は会員相互の親睦と地域社会の福祉の向上に就いて協力研鑽することを目的とする。

第五条 この会は前条の目的を達成するため次の事業を行う。

イ、総会及び役員会の開催

ロ、一般教養の研修会

ハ、専門科目の研究会

ニ、婦人部研修

ホ、その他

第六条 前条の事業を行うため会費又は寄付金をもってあてる。

イ、会費（経常会費）金二千円

ロ、特別会費（臨時会費）若干

ハ、寄付金

第七条 役員および役員の選出、任期、任務を次の通り定

める。

*この会に次の役員を置く。

イ、支部長 一名

ロ、副支部長 男女各一名

ハ、相談役 若干名

ニ、地区幹事 各地区毎に一名

ホ、婦人委員 若干名

ヘ、会計 一名

ト、監事 一名

*役員を選出は総会に於いて推薦により決定する。

*役員任期は二年とする。但し再選を妨げない。

*役員職務 支部長は本会を代表する。副支部

長は支部長を補佐し、支部長事故あるときはこれ

を代行する。

（内男子は庶務をかね、女子は婦人委員を掌握する。）

地区幹事並びに婦人委員は本会の運営にあたる。

会計、監事は本会のそれぞれの任務を処理する。

本部長は支部長及び副支部長二名がこれに当たる。

第八条

この会計年度は毎年四月一日に始まり翌年三月三十一日を以つて終る。

第九条 総会は支部長が招集し、議長は支部長がこれに当
たる。

総会の議事は出席者の過半数の同意を以って決す
る。

第十条 次のとおり慶弔を行う。

イ、会員が米寿、白寿（数え歳）を迎えたときは
記念品を総会に於いて贈呈する。

ロ、会員死亡のときは弔意を表し香典をお供えす
る。本部同窓会慶弔規定と重複して、支部も行
う。

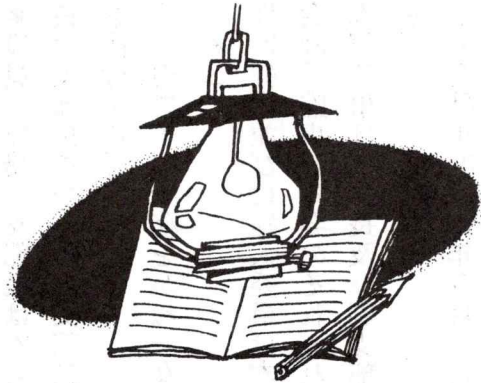
いずれの場合も該当者が出れば近隣会員が地区
幹事に連絡する。これにより支部長は本部に申
請して支部と同様に慶弔を行う。

記念品、香典の額については予算の範囲内で役
員会で決定する。

付記

1 この会は昭和五十五年十二月七日近江八幡市
老人憩いの家に於いて開催した総会の日から実
施する。

2 昭和五十六年十一月八日、五十九年四月十三
日、六十年五月十日、六十一年五月一日、六十
三年四月三十日、平成七年四月二十六日及び平
成八年四月二十六日の総会に於いて改正された。



創刊号会報抜粋

創刊号

會報

滋賀県老人大学校

比牟礼同窓会

目次

- 一、滋賀県老人大学校同窓会憲章
- 二、滋賀県老人大学校比牟礼同窓会々則
- 三、発刊の御挨拶
- 四、真価のご発揮を祈って
- 五、同窓会の活動と沿革
- 六、昭和五十六年度の役員名簿
- 七、会計報告と会報の予算
- 八、会員の希望又は近況(順序不同)
- 1 同窓会
- 2 同窓会の一員となって
- 3 老人大学同窓会の集い
- 4 短歌
- 5 燃ゆる心
- 6 短歌
- 7 思いのまゝ
- 8 県老大誘致について
- 9 老人大学校誘致について
- 10 老大誘致に頑張ろう
- 11 老人の生甲斐
- 12 県老人大学の再誘致について
- 13 孫の驍
- 九、県老大比牟礼同窓会々員名簿

(あしがき)

会長	中嶋 實	監事	田木 谷川 繁文 松雄
会長大	国松 先生	三期生	城野 弥三
		四期生	小西 一郎
		一期卒	中村 弥平
		二期卒	犬井 春子
		二期卒	宇野 よしゑ
		二期卒	三長 きみ江
		四期生	岡田 政治郎
		三期生	中島 庄右エ門
		二期卒	田谷 繁松
		二期卒	岡田 定平
		二期卒	中嶋 實
		四期生	苗村 利平
		二期卒	木川 文雄

(表紙字・文芸部 城野弥三)

滋賀県老人大学校同窓会憲章

- 一、互いに助け合い、高令化社会を生きる資質と実践力を高めあおう。
- 一、心身の健康を保って、社会活動に積極的に参加し、老人クラブ活動の支柱となつて働こう。
- 一、古き良きものを伝承し、新しきを生み出して、郷土社会の健全な発展に尽くそう。
- 一、会員の親睦と研修および、老大的発展に寄与する活動を積極的、持続的に推進しよう。
- 一、社会の進展に即応する高令者像の具現のため、励み合い提携し合う輪を、内外に広めよう。

昭和五十七年三月八日

滋賀県老人大学校同窓会



滋賀県老人大学校比牟礼同窓会々則

- 第一条 この会は滋賀県老人大学校比牟礼同窓会という。
- 第二条 この会は近江八幡市在住の滋賀県老人大学校卒業生及び在学を以つて会員とする。
- 第三条 この会の事務所は会長宅に置く。
- 第四条 この会は会員相互の親睦と地域社会の福祉の向上に就て協力研鑽することを目的とす。
- 第五条 この会は前条の目的を達成するため次の事業を行なう。
 - イ 総会の開催
 - ロ 一般教養の研究會
- 第六条 前条の事業を行なうため會費を徴集する。
 - ハ 専門科目の研究會
 - ニ その他
- 第七条 この会に次の役員を置く。
 - イ 会長 一名
 - ロ 副会長 男女各一名
 - ハ 学年委員 若干名
 - ニ 学区幹事 若干名
 - ホ 庶務 一名
 - ヘ 會計 一名
 - ト 監事 一名
- 役員は任期は二ヶ年とする、
- 役員は総会に於て推せんにより決定する。
- 第八条 この會計年度は十月一日に始まり翌年九月三十日をもって終わる。

(四月一日) (三月末日)

附 記

- 一、この会は昭和五十五年十二月七日近江八幡市老人憩の家に於て開催した総会の日から施行する。
- 二、昭和五十六年十一月八日の総会に於て第二条、第六条、第七条を補則修正する。

開設と発刊の御挨拶

会長 中 嶋 實

昭和五十五年十二月七日、有志の方々の熱意ある御発想により、同窓会開設の総会を致しました処、その当時の会員数二十四名中、三分の二以上の御出席をいただき、会則の審議と役員を選出を行い、希望と喜びのうちに比牟礼同窓会を設立する運びとなりました。その後会員の方々から会報発行の希望がありましたので、不肖私、腰痛と左手の負傷により、発刊ののびくとなりましたことを、お詫び申し上げます。

つきましては、昨年十月県老大四期生の入学式が行われ、十三名の方の御入会により、十一月八日総数三十七名の第二回総会を市老人憩の家にて開催致しました。その節、会報発刊と役員改選が行われはからずも皆々様の御推せんにより私が会長を勤めさせて戴くことになりました。

今後は、会員の皆様をはじめ関係方面の方々の御指導と御鞭撻を賜わり、巻頭に掲載しました滋賀県老人大学校同窓会意章の趣旨を基本として、本会の目的達成に努力致したいと思ひます。何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

次に会報の発行につきましましては、発起人の方々と話し合つて、県老大の型式を以つてお願い致しましたところ「云うは易く、行うは難し」と云う言葉の通り、色々むづかしい問題があります。会報は私達の心の広場であると考えましたが、起稿者が少ない点もあり、もう一つと思ひますが、手作りの土瓶と思つて御覧下されば何よりの幸と存じます。

尚、会報を発刊するに当り、県老大の国松先生から貴重な、原稿を御寄せいただきましたことを、厚く御礼申し上げますと共に、会員各位の御協力を感謝致します。終わりに会員の皆々様の御健康と同窓会の発展を祈り、御挨拶と致します。



真価のご發揮を祈つて

滋老大 国松佐三郎

比牟礼同窓会発足のすばやき、第二回総会開催など事業着手の積極ぶりに感服しながら、ますますのご活躍を祈っております。

ことしの滋老大同窓会総会で、研究発表総会をもつことが決定しましたから、その時には、比牟礼同窓会の目的にうたわれていきます。地域社会の福祉向上についての協力研鑽の実像や、事業にうたわれている「一般教養の研究会」ならびに「専門科目の研究会」の活動状況を、この会から発表いただきたいと今から期待いたしております。

また、県においては、老人クラブ活動推進員制度の設置助成にあたり、老卒業者の参加活動を期待されています。比牟礼同窓会の目的「地域社会の福祉向上について協力研鑽する」を具体化していく一つの場と思ひます。

比牟礼会が地域社会にますます貢献されるとともに、県老人クラブ活動推進員制度を支える母台的な活動を遂げていただくよう祈ります。



(城野 弥三)

同窓会の活動と沿革

摘要

年月日
昭55・12・7

○滋賀県老人大学校比牟礼同窓会の設立
総会を近江八幡老人クラブ憩の家にて開催
会則案の審議と承認、役員選出

○事務所を西元町47 中嶋実宅に決定し会員二十四名に報告

○十月二十九日県老大入学式施行後(当市四期生十三名) 第二回の同窓会総会を市老人クラブ憩の家にて開催

会則の補則修正、役員選任、会報発行と県老大移転防止の件を審議する。

昭56・11・13

○近江八幡市老ク連会長 森 正作氏を依頼して同窓会長外三名の委員が井狩市長に県老大教室移転防止に関する陳情を行う。

昭56・11・25

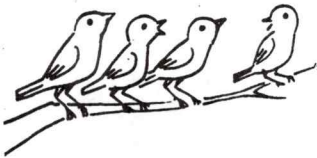
○県老大移転防止陳情の結果を会員に報告

昭57・3・11

○会報発行の型式を定め、会員に用紙配布

昭57・4・11

○会報編集委員会開催
○同窓会幹事会、市老人クラブ憩の家にて開催
会報配本と会報代徴収協議



昭和五十六年度役員名簿 (五六・一〇〜五七・九)

監事	会計	庶務	学区幹事								学年委員				副会長	会長	役員名		
			武佐	北里	桐原	馬淵	金田	岡山	島	八幡西	八幡東	北期生	四期在	三期在				二期卒	一期卒
木川文雄	田谷繁松	城野弥三	中村龜市	井狩忠之	山本由二郎	山本秋子	川瀬栄	中村弥平	前出幸一郎	浜春一	宇野よしゑ	中島庄右衛門	木川文雄	前出馬吉	犬井春子	小西一郎	中嶋實	西元町四七(事務所)	三一二四三五
西宿町七〇	島町六三二	小舟木町五七	西生来町	江頭町八二七	中小森町七九〇	東川町二〇三	西本郷町四八三	加茂町一八九〇	北津田町一〇〇二	北末町一四	小幡町中一七	新巻町二〇三	赤尾町三八四	西宿町七〇	北津田町一〇六六	永原町上一〇	長田町四二四	西元町四七	三一二四三五
七〇六六六	二一三〇七三	三一三七七〇	七一〇六三一	六一八〇三六	三一八二三	七一六四九〇	七一六六七五	四一四八四二	二一三六六三	三一三六八三	三一八〇二	七一〇八〇五	三一二六六一	七一〇六六六	二一〇七四	二一七九五	七一〇六九〇		七一二四三五

会計報告と会報発行の予算

一、經常会計(昭和五五・一二、昭和五七・三)

1、収入金 三七、〇〇〇円也

内 訳 会費一人一、〇〇〇円にて三十七人分

2、支出金 七、六六〇円也

内 訳 会則案内状、報告書の印刷代

十三回分六、五〇〇〇円、用紙切手三六〇円、茶八〇〇円

3、差引現在高二九、三四〇円也

郵便貯金、会計係が関係書類・通帳保管

二、臨時会計(懇親会二回分)

1、昭和五五年十二月七日總會十六人出席一人、一、〇〇〇円の会費一六、〇〇〇円懇親

会充当。収支差引残金なし(関係者報告済)

2、昭和五十六年十一月八日總會二十三人出席一人、五〇〇円の会費三四、五〇〇円を

懇親会費に充当。収支差引残金なし(関係者に報告済)

三、会報発行の計画と依頼

1、昭和五十七年三月十一日会長宅にて委員会を行い五十部五〇、〇〇〇円の範囲内にて

印刷に決定。

2、昭和五十七年四月中旬幹事会を市老人クラブ憩の家にて行い、会報配本と支払いに

ついて協議の予定。

何卒御理解と御協力をお願い致します。

昭和五十七年三月十一日

会 計 田 谷 繁 松
監 事 木 川 文 雄



県老大誘致に付て

三期生 中 嶋 庄 右 衛 門

昨年十一月十三日比牟礼同窓会の決議により県老大再誘致に対する市当局への陳情を致した其の経過と私の意見を申述べます。

当日十時市役所のロビーに集合中嶋会長長森市老連会長に随行致しまして川村民生部長井狩市長に同窓会先般会合時の話の内容を中嶋会長より詳細話され森市老連会長は設立当初よりの内容をよく承知しておられる為当初よりの経緯を話され市は県及び滋賀銀行に対し文化会館完成の時点に於て全面的に文化会館に校舎を移轉すると当時市の条件が完成後の今日会場費の関係で移轉出来ない由を以て大津へ移轉し終った事として今更近江八幡市へ誘致と言つても中々至難であり県としても既に大津にて開校しあり又近江八幡市へとはやはり県としての面子もある事として一寸困難である事は火を見るより明らかであります。

現市当局としては開校当初に文化会館完成の時点に於て移轉等の話は承知しておらないと言われ又当時の部課長が既に退職しておつて全く撞む処がなく今となつては死んで帰らぬ子の年を数える如しである。

新規まき直し行政面より比牟礼山麓に有する市有地に立派な鉄筋コンクリートの滋賀県老人大学校々舎を建築せらるゝ様市は挙げて一丸となり誘致運動を展開する様要望するに市長はよく検討し担当者とも話し合つて善処するとの解答にて約一時間余りの会談でありました。

今後我々同窓生は個々に於ても会としても折にふれ時にふれ要望と懇願側面より協力し其の実現の一日も早からん事を熟望する者であります。

大奥より清き流の五十鈴川

赤黒鯉を水面に眺む

玉砂利を踏みわけす、む参道の

浄心水に心を清む

国開く神にぬかずき年頭に

拍手うって感謝と祈

老人の生甲斐

二期卒 中嶋 實

昨年県老犬教養講座に於て、広瀬先生から聞きまじったように、「生きがい」とは人間の基本的な欲求の充足で、一人ひとり違い、多種多様で、高次のなものと、低次のなものになるが、総合的に云って、教養や、健康、余暇の利用、或は社会的活動であると思います。去る二月十二日のサンケイ新聞に、三重県鳥羽市の教育委員である、浜口卯喜さんが六十八才の高令で、名城大学の大学院に、十二人中第二位の優秀な成績を以て合格され、「人間は生きがいなければだめだ。大学四年間は、授業が終ると、本当に駆け足で地下鉄と電車を乗り継ぎ帰宅する毎日だったが、意欲が充実していたからやれた。合格したからには、さらに深く学びたい。」と限らない向学心に燃えて居られると云うことであります。

第三期生や、第四期生の会員各位にも、浜口様と同じように、生きがいを以て、学習して居られると思います。

御承知の事と存じますが、比牟礼山麓に、滋賀県厚生年金保養センターが、昭和五十七年度に実施計画と一部着工、昭和五十八年度は本格的な工事が行われて、昭和五十九年三月には竣工し、開業される事が明らかになりました。私達近江八幡市にとり、国民休暇村の存在と同様喜ばしいことだと思います。

この施設は、武村知事の提唱されている、「明日の湖国」、奥野元助役の「遠近未来随想」、川端五兵衛氏発想の商業博物館、或は吉井周策市議の水郷八幡は、地域社会の福祉向上と発展のための、大切な事業であります。

尚県老犬施設が、上記の年金保養センターの附近に、設置されることによって、県老犬入学者が増加し、老犬に学ぶことが「老人の高次のな生甲斐である。」更に会員の増加は近江八幡市を良くする重要な問題であると考えて居ります。

あといくつ共に生きうる命かとかやみに静かな寝息ききいる
 城野弥三

城野弥三

滋賀県老人大学校比牟礼同窓会会員名簿(昭56・10現在)

桐原学区	島学区	八幡学区										学区							
八木町 四〇六	赤尾町 三八四	堀上町 四一五七	中小森町 七九〇	北津田町 一〇〇二	島町六三二	北津田町 一〇六六	多賀町 六四五	北元町一八	玉屋町八	土田町	北末町二	小幡町中 一七	魚屋町元	北末町一四	西元町四七	永原町上 一〇	出町 七四一	魚屋町上四	住所
生活	文芸	生活	園芸	園芸	園芸	園芸	生活	園芸	生活	生活	陶芸	生活	生活	陶芸	園芸	生活	陶芸	生活	科目
第四期	第三期	(転出)	第一期	第四期	第二期	第一期	第二期	第一期	第四期	第三期	第二期	第一期	第二期	第一期	第二期	第一期	第二期	第一期	年度
荒井俊子 三二七六六	中嶋庄右衛門 三一六二	神田隆子 三一六〇四七	山本由二 三一八二二	前出幸一郎 二二六六三	田谷繁松 二二〇七三	前出馬吉 二二八六六	西川志津 二二八六六	北脇かず江 三二八四〇八	泉本みね 二二五六二六	大橋雪 三二二六九	吉川保三郎 三二二六九	宇野よしゑ 三二二六九	三長きみ江 二二二二三	浜春一 三二二六八三	中嶋實 三二二四三五	犬井春子 二二二七九五	谷口光子 二二四六五七	喜多川りう 二二四五〇	氏名
会 員 数		武 佐 学 区		馬 淵		北 里		金 田 学 区				岡 山 学 区				学区			
三十七名		武佐町 六五五	長光寺町 一〇六	西宿町七〇	新生町 一〇三三	東二川町 二〇三三	江頭町 八二七	長田町 四二七	西庄町 一三五五	上田町 一〇六一五二	鷹飼町 一五四八	西本郷町 四八三	浅小井町 三三七	船木町 二二五六	小舟木町 五七七	南津田町 二六	加茂町 二八七六	加茂町 一八九〇	住所
女 一五名		文芸	園芸	陶芸	文芸	生活	福祉	生活	生活	園芸	園芸	生活	文芸	陶芸	生活	文芸	福祉	福祉	科目
男 一二名		第四期	第二期	第一期	第四期	第一期	第一期	第二期	第一期	第四期	第三期	第一期	第四期	第三期	第二期	第二期	第一期	第一期	年度
		岡田政治郎 七〇八七三	安田泰三 七〇六四五	木川文雄 七〇六六六	中村亀市 七〇六三二	山本秋子 七〇六三三	井狩忠之 六〇八三六	小西一郎 七〇六九〇	八田富美 三二六四三	近藤圭介 七〇六六四	土田辰次郎 三二四八三	川瀬栄 七〇六七五	中島重治 三二六四三	岡田英多良 三二六四三	片岡みゑ 三二六四三	岡田定平 四一八六五六	中村弥平 四一八四二	氏名	

中部支部

支部長 木俣 信一

中部支部(旧名湖東支部) 八日市市、蒲生郡、神崎郡の一市七町です。僅か八市町ですが県の中心に位し、琵琶湖の畔りから、三重県境の永源寺まで、南北は日野町から彦根市境まで、かなりの広い範囲の地区です。会員の分布状況は別掲に依りますが、分岐点にあるが為の便利のよさで、老人大学時代は天津のみ、レイカディア大学に成って草津に、米原校が開校されて草津、米原、大津、卒業生の学び舎もバラバラと成り、たまの出逢いも話題の少ない事もあるが、又変った話もあり、楽しいものですが? 同じ同窓会員でも課目に依って卒業後の地域での活動状況も変る様です。年齢層も調べて見たのですが、上は九十才から六十四才まで其の差二十六才正に親と子の集団と成ります。世代の違いも、生活面でのむつかしさが表われてきます。県や支部の同窓会よりは、同校、同期、同課の方が優先する事は致し方が無いが其の延長を今一つ御願ひしている処です。私も支部をお預かりして四年二期目ですが、其の間これと云った活動も出来なかつたのですが、北陸方面への親睦旅行が一回(約三十名)参加。各理事の総意に依り各町

会員数に依じて助成金還付を行いました。本年度初頭に会費の徴収と同時に十五周年記念として、記念品を全会員にお届け頂きました。(約二千円相当品)総会時には高齢者への敬いの証として御祝いを(商品券)(明治生まれの方全員九名)贈らして頂きました。

支部縦横の連絡を取ることは最も大切ですが、其の前に各町での会員の理解と協同体を作るべく会員の増加を機に分会の結成が必要と思ひ、先ず私の所からと安土分会を発足し年二回思い付きの会合を持っております。本年は八日市市でも分会の発足発起人会が行われた事を喜んでおります。

支部長選出について今迄は選挙なり選考委員に御願ひしても仲々すつきり受けて貰えないのが実状でしたが、我が支部では規約を定めて戴き安心して任期を満了する事が出来る様にと、町別順位を定めて次はこの町、その次はどこと、選挙はなくても決まっておりますので安心です。次年度会長は現年度副会長に成って頂きます。女性部長、会計は支部長の町より推薦に依り定めております。

各支部共より以上の活動をされている事とは思いますが、今回御願ひし会報として発刊致しましたが今後の参考書としていただければと祈念しつつ報告を終ります。

中部支部 平成9年度同窓会役員名簿

役職名	氏名	住所	電話(0748)
支部長	木俣 信一	安土町	
副支部長	武久 四郎	八日市	
会計庶務	西村 信雄	安土町	
女性部長	宮下 美恵	安土町	
監査	大沢 行雄	安土町	
八日市市	諏訪 助蔵	八日市	
安土町	木瀬 外治郎	安土町	
日野町	岡本 幹雄	日野町	
竜王町	西村 泰蔵	竜王町	
永源寺町	西岡 虎男	永源寺	
五個荘町	布施 義忠	五個荘	
能登川町	矢嶋 昇治	能登川	

中部支部 高齢者名簿

No	生年月日	数年	氏名	性別	
1	明. 40. 1. 19	91	周 防 安 次	男	八日市(H9逝去)
2	明. 40. 2. 15	91	森 野 重太郎	男	能登川
3	明. 40. 4. 10	91	犬 井 富 美	女	竜 王
4	明. 41. 3. 19	90	北 方 多良吉	男	竜 王
5	明. 41. 5. 8	90	川 端 正 吉	男	能登川
6	明. 43. 8. 12	88	中 江 章 浩	男	五個荘
7	明. 44. 1. 18	87	井 口 新 作	男	能登川
8	明. 44. 7. 9	87	松 吉 敏 江	女	蒲 生
9	明. 45. 7. 21	86	平 田 タ ッ	女	竜 王

湖東支部

支部長 辻 幸夫

当支部の第一の楽しみは新入会員の歓迎会である。今後の予定講演会として、びわ湖について、水産試験場・気象台・彦根市役所をお願いしたい。又湖北の歴史を尋ねたい。

生花・お茶・習字・俳句・俳画・手芸・カラム・談話教室を予定している。学区別一四学区、男一八名、女一〇四名。

湖東支部地区別会員数

	地区名	男	女	計
愛知郡	湖東町	11	11	22
	秦荘町	11	3	14
	愛知川町	10	10	20
	愛東町		1	1
	小計	32	25	57
犬上郡	甲良町	19	8	27
	豊郷町	4	6	10
	多賀町	7	2	9
	小計	30	16	46
彦根市	東中学区	16	17	33
	西中学区	3	9	12
	中央中学区	10	6	16
	南中学区	8	9	17
	彦根中学区	2	3	5
	鳥居本中学区	6	2	8
	稲枝中学区	11	17	28
	小計	56	63	119
合計		118	104	222

平成9年10月現在

平成八年度に行った主な支部行事について、概要を報告致します。

①規約改正

支部活動を円滑、活発にする為、愛知・犬上・彦根の三ブロックに分けて実施することになって三年、夫々の分会活動を行う中で、役員構成が支部と分会の二本建てにしたり、各役員の任務が複雑化したり、また県の理事の位置付け、殊に女性理事が支部規約の上で明確になっていない等色々問題点が顕在化してきた為、平成八年度から規約改正に取り組み、九年度定期総会で正式に決定を見ました。かなり大幅な改正となりました。

②組織運営と役員構成

規約改正の目的は前記の通りであります。会員数の急増と地域分布の平均化に伴い役員の任務と役割、及び組織の上で、これに適切な対応が出来るよう規約改正をしたのであります。最も基本的な事は、全会員の連絡網の整備と情報の相互伝達が円滑に出来ることを主眼にした運営組織と、役員構成の整理を図ったことあります。即ち各地域に在住する会員を一定地区にまとめ、その地区の代表として役員（常任委員）を選出し、その委員は地区の用務を処理するとともに支部の重要事項を審議する決議機関としての常任委員会を構成する。

また、正副会長、本部理事、会計監査、幹事（庶務・会計）等によって運営委員会を構成し、執行部としての役割を果たす等の体系的な整理をしました。

従って常任委員の人数が支部と分会の一本化により倍増することになり、役員会の形や回数も当然変わることになりました。

（別紙役員名簿添付）

③支部会報の発行

同窓会の運営上最も基本的にして重要な事は、すべての会員に、会の動向や行事、会計面の諸情報が細大もろさず届けられるということではないでしょうか。そうすれば、会に対する関心も高まり、積極的な参加も期待出来るのではないか、その為には、地区別名簿をきちっと整備して、すべての会員に配布することから始めるべきでしょう。

支部の行事や会計がどうなっているのか、誰が役員なのか、年一回の総会に出席しなければ全くわからないということでは、会費を納める価値がないのではないのでしょうか。せめて、その程度のことにはすべての会員に知らせるべき義務と責任が執行部にはある筈であります。

遅ればせながら、平成九年度支部会報を第一号として、此の度発行することが出来ました。今回は「事務局だより」的な色彩が強く、改正新規約、前年度事業・決算報告、当

年度事業・予算等を羅列したに過ぎず、すべて手造りで経費も特別な予算計上して行ったものでありません。将来的には、他支部で発行されているような、内容の豊富な機関誌として発展させたいと考えています。

④分会活動の促進

支部会計の約半分、正確には当年納入された支部会費一人一、〇〇〇円のうち五〇〇円を各分会（愛知、犬上、彦根）に分会活動費として会費納入者数に応じて助成されている。各分会ではこれを唯一の財源として夫々独自の活動を行っています。その実施状況と会計報告は順次「支部会報」に掲載して、他の分会員の参考に供し、相互に切磋琢磨して、より積極的に有益な活動が出来るよう努めています。

彦根分会では、新入会員を迎えた十月か十一月に「新入会員歓迎会」を行っています。内容は、歓迎セレモニーの他、本会对するオリエンテーションと講演会のあと、会食・懇親の催しで、一日和やかに楽しく過ごして割合好評を得ています。会員の半数近い人が出席されています。本年度三回目となりますが、来年度以降については少し検討してはと考えています。この催しを始める前、つまり今から三年前になります。全会員を対象にアンケート調査を行った結果、最も希望の多かった講演会をとりいれ、新会

員を迎えて地区別名簿の整備をした上で相互の顔繋ぎの意
味も含めてこのような催しになったのであります。

【支部活動の報告】

新入会員歓迎会（平成八年度 彦根分会）

☆日時 平成八年十一月八日（金）十時～十四時

☆会場 彦根市老人福祉センター大集会室

☆出席者 会員 四五名 ほか講師

☆内容と日程

(1) 歓迎式典 十時～十時二十分

・ブロック長（分会長）歓迎のことば

・本部副会長（野中氏）お祝いのことば

・新入会員紹介

・新入会員代表あいさつ

(2) オリエンテーション 十時二十分～十時五十分

・同窓会本部、支部の組織、運営、活動状況、問題点など

・彦根ブロック（分会）の組織と役員構成及び年間行事など

(3) 講 演 十一時～十二時

演題 「男女共同参画社会の推進に向けて」

講師 彦根市企画部女性施策推進室長 中 文子氏

(4) 会食・懇親 十二時十分～十四時

滋賀県レイカディア大学同窓会 湖東支部規約

第一条 本会は滋賀県レイカディア大学同窓会湖東支部

（以下本支部という。）と称し、事務所を支部長宅に
おく。

第二条 本支部は、会員相互の親睦と研鑽をはかり、老人
福祉の向上に資し、地域社会の奉仕活動に努めるこ
とを目的とする。

第三条 本支部は前条の目的を達成するため次の行事を行
うことが出来る。

講演会、研修会の開催、奉仕作業、会報の発行 そ
の他

第四条 本支部は彦根市、愛知郡、犬上郡内に在住するレ
イカディア大学同窓会員をもって組織し、これを運
営上、三ブロックに分け、それぞれ彦根分会、愛知
分会、犬上分会と称する。

第五条 本支部に次の役員をおく。役員任期は二ケ年と
し、再任は妨げない。但し、補欠による任期は前任
者の残任期間とする。

一、支部長 一名

副支部長 三名（各分会長兼任）

会計監査 二名

幹事 二名（庶務及び会計）

常任委員 若干名

二、本部理事 三名（支部長及び副支部長のうち一名と公選一名）

第六条 役員の任務を次のように定める。

- 一、支部長は本支部を代表し、支部用務を統轄するとともに各会議を召集し、その議長となる。
- 二、副支部長は、支部長を補佐し、支部長事故あるときは、その職務を代行する。また、各分会の用務を統轄する。
- 三、会計監査は会計を監査する。
- 四、幹事は庶務・会計の任にあたる。
- 五、常任委員はそれぞれの地区会員を代表し、各地区の用務を処理するとともに本支部の重要事項を審議する。

六、本部理事は本部との連絡調整にあたる。

第七条 役員の選出は次のようにする。

- 一、支部長、副支部長、本部理事（一名）は支部総会において会員の中から推挙する。
- 二、会計監査、幹事は常任委員会において委員の中から推挙する。

三、常任委員は支部長が委嘱する。

第八条 本支部は常任委員会の推挙により、顧問、相談役をおくことが出来る。

第九条 本支部に次の会議を設ける。各会議における議事

は出席会員の過半数により決し、可否同数の時は議長がこれを決める。

一、総会は年一回開催する。会場は三分会輪番とする。

二、運営委員会は、執行部（正・副会長、本部理事、会計監査、幹事で構成）として必要の都度開催し、会務を処理する。

三、常任委員会は、次の重要事項を審議決定する。

行事の計画、予算・決算、役員の選出、規約の改正等

第十条 本支部の経費は会費、寄付金をもって充てる。

一、会費は年間一人二、〇〇〇円とする。うち、県本部会費一、〇〇〇円を含む。

二、分会活動促進のため、会員数に応じて各分会の経費を助成する。

第十一条 本支部の行事及び会計年度は毎年四月一日に始まり翌年三月三十一日に終る。

第十二条 本支部規約の変更は、総会の議を経てこれを行う。

付則 本支部規約は平成七年六月二十六日より実施する。

平成九年六月十四日一部改正

湖東支部 平成9年度同窓会役員名簿

支 部 長	氏 名	住 所	電話番号	備 考
支 部 長	辻 幸 夫	彦根市		
副支部長	磯 貝 澄 雄	彦根市		彦根分会長
〃	西 堀 嘉 一	愛知郡		愛知分会長
〃	西 沢 正 三	犬上郡		犬上分会長
県理事	大久保 輝 子	彦根市		
顧 問	野 中 正	彦根市		本部 会長
会計監査	福 原 範 彦	中 村 健 蔵		
幹 事	庶務 野 上 雄 三	会 計 西 田 吉 男		
常任委員	沢 田 建 一	彦根市		
〃	山 田 竹 蔵	彦根市		
〃	北 沢 重 市	彦根市		
〃	小 堀 吉 夫	彦根市		
〃	横 山 芳 子	彦根市		
〃	中 村 健 蔵	彦根市		
〃	西 田 吉 男	彦根市		
〃	野 上 雄 三	彦根市		
〃	寺 村 真 蔵	彦根市		
〃	小 林 龍 男	彦根市		
〃	田 中 いさ江	彦根市		
〃	辻 みち子	彦根市		
〃	滝 沢 宣 子	彦根市		
〃	北 川 や ゑ	彦根市		
〃	山 田 佐太郎	彦根市		
〃	蔵 立 慶 夫	愛知郡		
〃	木 沢 ひ さ	愛知郡		
〃	辰 巳 佐一郎	愛知郡		
〃	森 野 久 章	愛知郡		
〃	北 川 弥一郎	愛知郡		
〃	福 原 範 彦	愛知郡		
〃	清 水 章 三	犬上郡		
〃	枝 村 和 次	犬上郡		
〃	川 並 稔 男	犬上郡		
〃	宮 尾 計	犬上郡		
〃	小 川 福太郎	犬上郡		

湖北支部

平成九年度湖北支部事業実施報告と計画について。

四月六日午前十時より長浜市の鮎留楼別館に於て役員会
開催。

一、議題

- (イ) 平成九年度総会提出議案の審議について
- (ロ) 平成八年度会計監査について
- (ハ) 懇親会について

五月十八日午前十時三十分より虎姫町の魚作楼に於て、
平成九年度湖北支部総会を開催、物故者三十八名の黙禱の
あと議事に入る。

一、来賓三名

二、会員出席者四十八名

三、議事終了後参加者全員懇親会を行う。

六月二十九日午後一時三十分より米原町公民館に於て役
員会を開催。

一、議題

- (イ) 支部会報第三号の発刊について
- (ロ) 原稿の取まとめと広告スポンサーの依頼について
- (ハ) 次期編集委員会の日程について
- (ニ) 秋の一日研修旅行について
- (ホ) その他

七月十九日午後一時より開催された米原町県立文化交流
会館の公開講座に対し支部会員二十二名出席する。

八月三十一日午後一時三十分より米原町公民館で役員会
開催。

一、議題

- (イ) 会報原稿の校正について
- (ロ) 次回の編集日程について
- (ハ) その他

九月二十七日午前九時三十分より山東町池下の山東町グ
リンパークに於て支部役員の研修と懇親会を開催。

一、内容

- (イ) グリンパーク山東の広場に於て参加役員四名ずつ
組編成とし、グラウンドゴルフを午前中プレーす
る。
- (ロ) 正午より三島池の近くにある三島亭にて「すきや
き」による懇親会で楽しい時を終る。

十月十二日午後一時三十分より米原町公民館に於て役員

会開催

一、議題

- (イ) 会報第三号の最終編集について
- (ロ) 支部主催の一日研修旅行について
- (ハ) その他

十一月十二日（水）湖北支部の一日研修旅行実施

（イ）行先、秋の紅葉観賞を主として御在所岳山上公園、

石山観音公園、伊賀上野芭蕉生家の見学等バスにて実施する。参加者は八十名の見込み

十一月中下旬に湖北支部発刊第三号会報を十八期卒業生を含め全会員に配布の予定。

滋賀県レイカディア大学同窓会 湖北支部規約

（名称）第一条 この支部は滋賀県レイカディア大学同窓

会湖北支部と称し、事務所を支部長宅に置く。

（目的）第二条 この支部は滋賀県レイカディア大学同窓

会本部との連携を密にして、支部相互間の親睦を計り、教養を高め老人福祉の向上に資し、地域社会の奉仕活動に努める事を目的とする。

（組織）第三条 この支部は滋賀県レイカディア大学（長

浜市、坂田郡、東浅井郡、伊香郡）卒業者を以て組織する。

（役員）第四条 この支部には、次の役員を置き任期を二

カ年とする。但し留任を妨げない。補欠による役員

の任期は残存期間とする。支部役員は総会において選出する。

①支部長 一名 ②副支部長 三名 ③幹事 若

千名 ④監事 二名 ⑤庶務、会計は支部長が委嘱する

（会議）第五条 支部は毎年一回以上総会を開催するもの

とし、その他必要に応じ役員会を開催する。緊急止むを得ないときは、支部長、副支部長の会で役員会に代えることができる。

（事業）第六条 この支部の目的達成のため次の事業を行うことができる。

①本部との連携 ②研修 ③その他必要なる事業

（会計）第七条 この支部の経費は会費、寄付金その他収入をもつて支弁する。

会員一人当たり年間一、〇〇〇円とする。会計年度は毎年四月一日に始まり、翌年三月三十一日をもって終わる。

（帳簿）第八条 この支部には次の帳簿を備え、会計庶務

が整理保管する。
①会員名簿 ②役員名簿 ③会計簿 ④記録簿

⑤その他必要書類

（慶弔）第九条 慶弔費の支出は役員会において決定する。本規約は昭和五十九年十一月十六日より実施する。本規約の改廃については、総会において出席者過

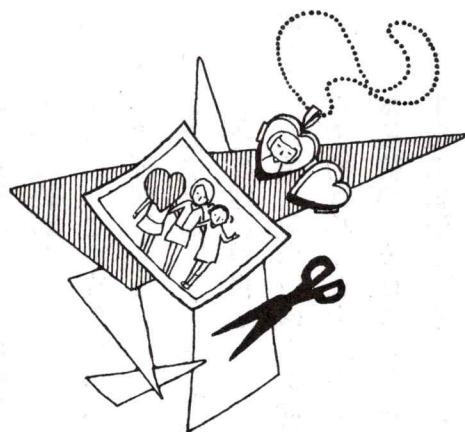
半数の議決による。

市 町 別	会員数	備考
長 浜 市	62名	
米 原 町	60名	
山 東 町	19名	
近 江 町	14名	
伊 吹 町	5名	
び わ 町	16名	
虎 姫 町	9名	
浅 井 町	5名	
湖 北 町	5名	
木之本町	17名	
高 月 町	32名	
西浅井町	11名	
余 呉 町	10名	
合 計	265名	

(以上17期生まで)

湖北支部における市町別の会員数は次のとおり。

(改正) 平成三年五月二十九日から施行する。
 (改正) 平成六年六月二十一日から施行する。
 (改正) 平成八年四月二十七日から施行する。
 以上



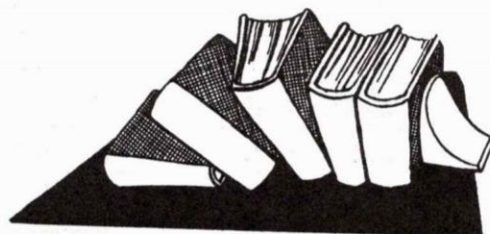
湖北支部 平成9年度同窓会役員名簿

役職名	氏名	住所	〒	電話	備考
支部長	松下 保清	坂田郡米原町	521		8.陶
副支部長	広部庄太郎	長浜市口分町	526		6.文
	秋野 昇	東浅井郡虎姫町	529-01		6.園
	林 憲雄	伊香郡木ノ本町	529-04		11.文
幹 事	川崎重兵衛	長浜市祇園町	526		12.園
	中川志げ子	〃 朝日町	526		13.ス
	名内喜代二	〃 堀部町	526		16.園
	藤居 治	〃 相模町	526		11.園
	後藤キク子	〃 加田町	526		11.文
	藤 雅子	〃 南田附	526		12.文
	一柳忠太郎	〃 殿町4-	526		15.園
	中川寿美子	坂田郡近江町	521		6.陶
	久保田 稔	〃 近江町	521		15.文
	北野 勇作	〃 山東町	521-02		15.文
	馬淵 尚之	〃 山東町	521-02		11.文
	土田 秋夫	〃 米原町	521		14.陶
	西村てる子	〃 米原町	521		14.生
	松本 芳雄	〃 米原町	521		11.園
	松井 好枝	〃 米原町	521		16.ス
	山内 一好	〃 米原町	521		13.文
	林 春三	〃 伊吹町	521-03		11.文
	宮下 義雄	〃 伊吹町	521-03		14.園
	藤井 峯子	東浅井郡虎姫	529-01		6.文
	辰巳 外弥	〃 虎姫	529-01		7.園
	中村 重之	〃 湖北	529-03		7.園
	阿部 久治	〃 びわ	526-01		10.文
	大浜寛一郎	〃 びわ	526-01		11.陶
	伊藤 博成	〃 浅井	526-02		12.文
	大比叡留次	伊香郡高月町	529-02		11.園
	田辺 一	〃 木之本	529-04		11.園
	平塚 志保	〃 西浅井	529-07		11.生
是洞 禎	〃 余呉町	529-05		14.園	

役職名	氏名	住所	〒	電話	備考
幹事	間所 守	伊香郡余呉町	529-03		14.文
	松田ともえ	〃 西浅井	529-07		16.生
	河路 寛	〃 高月町	529-02		13.文
監事	西島スミエ	伊香郡高月町	529-02		7.生
	横田 定雄	東浅井郡虎姫	529-01		11.文

県本部役員 松 下 保 清
 秋 野 昇
 同 監事 林 憲 雄
 横 田 定 雄
 女 性 部 中 川 志 げ 子

湖北支部事務局〔庶務担当〕 松 本 芳 雄



高島支部

支部長 志連 政五郎

はじめに

県下有数の広い面積をもつ高島郡ですが、草津校にしろ米原校にしろ、とも角学校が遠いのと交通不便の両方から大学への入学希望者は相変らず少なく、支部会員の大巾増は今の所望み薄というのが実状です。

支部会員七十三名は郡内六ヶ町村に分かれており、その上、会員ひとりひとりが極めて広い範囲に分散していますので、支部内での会員交流さえ出来にくいのが実態で、年一回の支部総会で旧交を温めあうのが唯一の交流会なのです。

一、組織の状況

役員

支部長	志連政五郎	(マキノ町)
副支部長	川島 義一	(新旭町)
同	志連紀恵子	(マキノ町)
庶務会計	川元 繁雄	(今津町)
幹事	前川 進	(安曇川町)
同	山本 弘一	(高島町)

(註) 川島・川元の兩名は幹事(町担当)を兼務
会員

町 村	男	女	計
マキノ町	2名	1名	3名
今津町	9名	4名	13名
朽木村	1名		1名
安曇川町	9名	4名	13名
高島町	10名	11名	21名
新旭町	14名	8名	22名
(合計)	45名	28名	73名



高島支部会則

成文化されておりませんが、重要項目のみ「申しあわせ」の形で確立されています。

(目的) 会員相互の親睦を図り、切磋琢磨しつつ社会の進展に寄与する。

(名称) 滋賀県レイカディア大学同窓会高島支部

(会員) 滋賀県老人大学校およびレイカディア大学を卒業し、高島郡内に居住する者

(事業) 定期総会・臨時総会の開催
研修会の開催

本部の活動に対する協力

その他必要と認めた事業

(役員) 会長一名、副会長二名(内一名は女性)

庶務会計一名、幹事四名

(註) ・会長・副会長・庶務会計は総会で選出し、任期は二年。

・副会長の内女性一名および庶務会計は、会長所在町村より選任。

・会長・副会長(男子)は町村輪番で選出され次期会長は現在副会長が繰り上がり就任。

(例)

副会長 (男子)	新旭町	安曇川町 朽木村	高島町	マキノ・ 今津町	新旭町
会長	マキノ・ 今津町	新旭町	安曇川町 朽木村	高島町	マキノ・ 今津町
	A年度	B年度	C年度	D年度	E年度

(会費) 年会費一、〇〇〇円

二、活動の状況

平成九年度支部総会

期日 平成九年五月十日(土) (今津町)

出席者 三一名

内容 ・平成八年度経過報告及び会計報告の件

・平成九・十年度の役員選出の件

・平成九・十年度事業予定及び予算の件

・その他の件
・懇親会

平成九年度県総会

期日 平成九年六月十一日 (大津市)

参加者 支部より九名

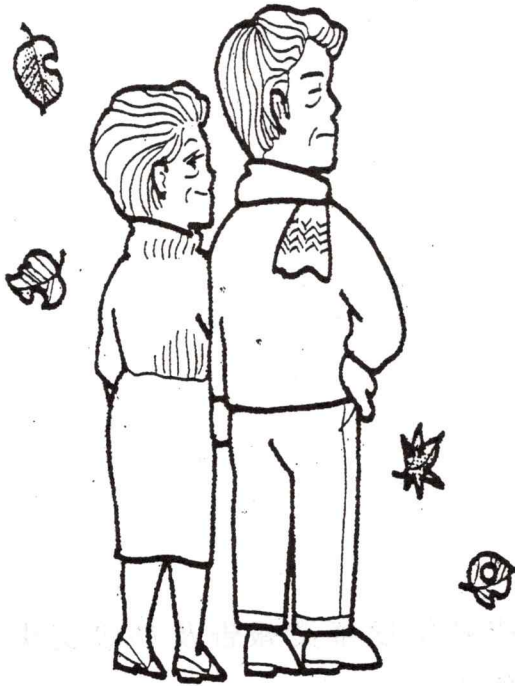
レイカディア大学公開講座 (米原町)

期日 平成九年七月十九日(土)

参加者 支部より十七名

終わりに

地理的に高島支部は恵まれていません。多くのイベントが私達から遠く離れた所で行われています。何とか参加したい、参加しようとは思いますが随分大きいハンデがあるのです。ご賢察下さい。しかし支部会員は母校建学の精神を忘れず、地味ではありますが夫々の地域で活躍しています。そのことだけは声を大にしてお伝えしておきたいと思えます。



平成 9 年度定期総会議案書 (資料)

平成 9 年度定期総会次第

- 1 開会のことば
- 2 故安倍勉会長追悼のことば並びに物故者に対して黙禱
- 3 同窓会憲章朗読
- 4 会長挨拶
- 5 功労者表彰
- 6 長寿者慶祝
- 7 来賓祝辞
- 8 議長選出
- 9 議事
 - 第 1 号議案 平成 8 年度事業報告及び収支決算並びに監査報告
 - 第 2 号議案 平成 9 年度事業計画及び収支予算案審議
 - 第 3 号議案 その他
- 1 0 閉会の言葉
- 1 1 昼食懇談
- 1 2 解散

滋賀県レイカディア大学同窓会憲章

1. 互いに助け合い、高齢者社会を生きる資質と実践力を高めよう。
2. 心身の健康を保って、社会活動に積極的に参加し、高齢社会の支柱となって働こう。
3. 古き良きものを伝承し、新しきを生み出して、郷土社会の健全な発展に尽くそう。
4. 会員の研修及び母校の発展に寄与する活動を積極的、持続的に推進しよう。
5. 社会の発展に即応する高齢者像の具現のために励みあい、提携し合う輪を内外に広めよう。

平成6年7月11日制定

滋賀県レイカディア大学同窓会

功勞者表彰狀受賞者名簿

(敬称略)

大津支部	伊藤	実三
湖南支部	嶋	鉄男
甲賀支部	真鍋	光徳
守山野洲支部	石井	也尺寿
近江八幡支部	村井	繁一
中部支部	高木	新蔵
湖北支部	馬淵	尚之

以上7名

長寿者慶祝 該当者名簿

(敬称略)

1. 白寿該当者 なし

2. 米寿該当者

大津支部	音野	愛	(女)
大津支部	高野	さと	(女)
大津支部	村田	多加	(女)
大津支部	田中	藤平	(男)
湖南支部	中嶋	美也子	(女)
甲賀支部	田中	一夫	(男)
近江八幡支部	小林	ふい	(女)
中部支部	中江	章浩	(男)
湖東支部	田中	きり	(女)
湖東支部	西村	茂	(男)
湖北支部	藤井	峯子	(女)
高島支部	霜降	利兵衛	(男)

以上12名

議第1号 平成8年度事業報告及び収支決算報告

平成8年度事業報告

月 日	事業名	内 容 等
4. 10	役員会	15周年打合せ会 (23名)
4. 19	打合せ会	記念誌発刊について(会長・事務局)
4. 25	役員会	平成7年度旧役員による理事会
5. 1	会報発行	15周年記念誌発刊配布
5. 8	打合せ会	理事会開催準備(会長・事務局)
5. 10	役員会	平成8年度新役員による役員会 定期総会開催に伴う諸案件について審議
5. 13	編集事務	安倍勉、中村勝一、野沢政次
5. 20	会計監査	西沢正三、磯貝澄雄
5. 27	打合せ会	総会について会長、佐々木尚一、事務局
6. 4	定期総会	近江八幡市県立婦人センター、参加者260名
6. 28	打合せ会	同窓会成果展について(20名)
7. 17	打合せ会	実態調査説明会について(24名)
8. 8	研修部会	参加者8名
8. 28	打合せ会	レイカディアフェスティバル(11名)
9. 12	研修部会	参加者10名
9. 20 ～9. 21	レイカディア フェスティバル	守山市民ホール 公開講座 幸田佛三 『人と人ーボランティアへ踏み出す一歩ー』 成果展(130点)
9. 25	卒業式	第17期生卒業式に会長参加し同窓会入会を勧める
9. 30	打合せ会	支部長会議
10. 17	入学式	第19期生入学式に会長出席
10. 28	広報部会	参加者11名
11. 7	研修旅行	たけふ菊人形他(97名)
1. 31	役員会	ホテル琵琶湖プラザ 新年度事業計画の検討
3. 1	公開講座	講師 NHK西田善夫氏、『スポーツ+α=まちづくり』、 OB事例発表 佐々木尚一氏、松井好枝氏

平成 8 年度収支決算書

収入の部

単位：円

区 分	予 算 額	決 算 額	増 減	摘 要
会 費	1,500,000	1,507,000	7,000	
総 会 会 費	625,000	545,000	△ 80,000	2,500×218
委 託 費	753,000	753,000	0	
雑 収 入	5,085	37,662	32,577	
繰 越 金	358,615	358,615	0	
合 計	3,241,700	3,201,277	△ 40,423	

支出の部

単位：円

区 分	予 算 額	決 算 額	増 減	摘 要
会 議 費	950,000	986,407	36,407	
総 会 費	800,000	827,557	27,557	借り上げ、功労者・米寿記念負担金
役員会費	150,000	158,850	8,850	昼食賄い
事 務 費	320,000	378,564	58,564	
嘱 託 費	100,000	60,000	△ 40,000	事務委託
旅 費	100,000	266,910	166,910	役員旅費
消耗品費	20,000	2,884	△ 17,116	賞状、筒、P P C ラベル
印 刷 費	20,000	18,431	△ 1,569	封筒、フィルム現像
通 信 費	50,000	30,339	△ 19,661	文書発送
雑 費	30,000	0	△ 30,000	
業 務 費	1,763,000	1,625,326	△ 137,674	
総務部費	80,000	48,325	△ 31,675	役員会会場借り上げ
研修部費	200,000	86,006	△ 113,994	フェスティバル搬入代、研修旅行負担金
広報部費	730,000	737,995	7,995	15周年記念誌1700部
生活実態調査費	753,000	753,000	0	切手代 名簿作成費
慶 弔 費	150,000	67,998	△ 82,002	門楹、見舞い
予 備 費	58,700	54,350	△ 4,350	バッチ作製 300個
次年度繰越	0	88,632	88,632	
合 計	3,241,700	3,201,277	△ 40,423	

特別会計基金 1, 1 1 7, 0 4 0 円 [内利息 3, 5 6 3 円含む]

上記のとおり報告します

平成 9 年 4 月 2 8 日

会 計 森 安 孝 子 印

監査報告

諸帳簿、証拠書類等監査した結果、いずれも適正に処理されていたものと認めます。

平成 9 年 4 月 2 8 日

監 事 横 田 定 雄 印

林 憲 雄 印

議第2号 平成9年度事業計画及び予算（案）

平成9年度事業計画（案）

月 日	事業名	内 容 等
4. 30	役員会 (旧役員)	・平成8年度決算の事前審議 ・平成9年度予算・事業計画等の事前審議 ・平成9年度各専門部会の活動計画審議
5. 12	役員会 (新役員)	・平成9年度定期総会に提案する諸案件についての事前審議 ・その他
6. 11	定期総会	・日時：6月11日 10時30分より ・場所：アヤハレークサイドホテル ・参加者：200名（内来賓10名）
6. 上旬	会報編纂募集	説明書の配布
7. 19	公開講座	・文化産業交流会館 講師 奥村彪生『日本の伝統健康料理』
8. 上旬	会報校正	最終校正
9. 17	卒業式	・第18期生卒業式、同窓会入会の勧誘 ・会報15号発刊配布。
9. 下旬	名簿作成	・新卒生名簿
10. 25 ～ 10. 26	成果展 (文化祭)	・総合イベント(レイカディアセンター) 会場で開催 ・総合イベント(仮称瀬田公園体育館・瀬田公園グラウンド) 会場でニュースポーツの実施 [自由参加]
10. 下旬 ～ 11. 上旬	研修旅行	・日帰り、行先県内、後日決定
11. 中旬	役員会	・大学開校20周年記念事業について
1. 下旬	役員会	・9年度総括、10年度事業計画
2. 28	公開講座	・滋賀会館

平成9年度予算書（案）

収入の部

単位：円

区 分	本年度予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
会 費	1,680,000	1,500,000	180,000	
総 会 費	600,000	625,000	△ 25,000	会費3,000×200=600,000
委 託 金	0	753,000	△ 753,000	
雑 収 入	30,000	5,085	24,915	
繰 越 金	88,632	358,615	△ 269,983	
合 計	2,398,632	3,241,700	△ 843,068	

支出の部

単位：円

区 分	本年度予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
会 議 費	800,000	950,000	△ 150,000	
総 会 費	700,000	800,000	△ 100,000	賄料3,000×200=600,000 会場費 50,000 その他雑費 50,000
役員会費	100,000	150,000	△ 50,000	
事 務 費	410,000	320,000	90,000	
嘱 託 費	100,000	100,000	0	
旅 費	150,000	100,000	50,000	
消耗品費	30,000	20,000	10,000	
印 刷 費	50,000	20,000	30,000	名簿印刷補充
通 信 費	50,000	50,000	0	
雑 費	30,000	30,000	0	
業 務 費	950,000	1,763,000	△ 813,000	
総務部費	50,000	80,000	△ 30,000	
研修部費	150,000	200,000	△ 50,000	
広報部費	750,000	730,000	△ 20,000	会報印刷
生活実態 調 査 費	0	753,000	△ 753,000	
調 査 費	50,000	0	50,000	
慶 弔 費	150,000	150,000	0	功労者表彰、米寿祝 弔慰
予 備 費	38,632	58,700	△ 20,068	
合 計	2,398,632	3,241,700	△ 843,068	

議第3号 その他

平成9年度 滋賀県レイカディア大学同窓会役員名簿

役職名	氏名	住所	〒	TEL	備考	
会長	野中 正	彦根市平田	522			
副会長	門馬 三郎	大津市大谷	520			
支 部 長 ・ 理 事	大 津	○門馬 三郎	大津市大谷	520		総務
		井上 弘	大津市平津	520		広報
		島田 岩治	大津市南郷	520		調査
		吉田可津子	大津市長等	520		研修
	湖 南	○伊藤 重一	草津市南山	525		調査
		亀田 貢	栗太郡栗東	520-30		総務
		福井しげの	草津市南笠	525		総務
	守 山 野 洲	○中村 勝一	守山市吉身	524		◎研修
		田村 進	野洲郡野洲町	520-23		総務
		山本 てる	守山市森川	524		広報
	甲 賀	○大林源太郎	甲賀郡甲賀	520-34		総務
		今井 博	甲賀郡信楽	529-18		研修
		畑中 千代	甲賀郡甲南	520-33		調査
	近 江 八 幡	○佐々木尚一	近江八幡市	523		総務
		小川 常三	近江八幡市	523		研修
		伏西千代子	近江八幡市中	523		広報
	中 部	○木俣 信一	蒲生郡安土町	521-13		◎広報
		武久 四郎	八日市市蛇溝	527		調査
		宮下 美恵	蒲生郡安土町	521-13		調査
	湖 東	○辻 幸夫	彦根市甘呂	522		総務
		西堀 嘉一	愛知郡湖東	527-01		広報
		大久保輝子	彦根市鳥居	522		研修
	湖 北	○松下 保清	坂田郡米原	521		◎総務
		秋野 昇	東浅井郡虎	529-10		広報
中川志げ子		長浜市朝日	526		研修	
高 島	○志連政五郎	高島郡マキ	520-18		◎調査	
	川島 義一	高島郡新旭町	520-15		研修	
	志連紀恵子	高島郡マキ	520-18		広報	
監 事	林 憲雄	伊香郡木之本	529-04			
	横田 定雄	東浅井郡虎	526-01			
幹 事	阪口 伊織	草津校				
	森安 孝子	草津校				
	西村 哲英	米原校				
	千田みゆき	米原校				

○印は各支部長

◎印は各部長

滋賀県レイカディア大学同窓会会則

第1条（名称）

本会は、滋賀県レイカディア大学同窓会と称する。

第2条（会員）

この会は、滋賀県老人大学校およびレイカディア大学の卒業生をもって組織する。

第3条（事務所）

この会の事務所は、滋賀県レイカディア大学本部内に置く。

第4条（目的）

この会は、会員相互が切磋琢磨し併せて親睦を図り母校の発展に寄与することを目的とする。

第5条（事業）

本会は、前条の目的を達成するために、下記の事業を行う。

1. 定期総会および臨時総会の開催
2. 母校の活動に対する援助協力
3. 調査、研究に関する事項
4. 成果展および公開講座に関する事項
5. 会報の発刊に関する事項
6. 功労者の表彰
7. 慶弔の実施
8. その他必要と認めた事業

第6条（部の設置および分掌事項）

前条の事業を行うため、次の部を設け所掌事項を定める。

部長および部員は会長が委嘱する。

1. 総務部

- ・定期総会および臨時総会に関すること。
- ・この会の予算、決算、事業計画等の策定に関すること。
- ・功労者の表彰の具申、慶弔の実施
- ・その他、他の部に属しない事項

2. 研修部

- ・研修事業の策定および実施
- ・文化祭および公開講座の実施

3. 広報部

- ・会報等の編集、発刊に関すること。

4. 調査部

- ・名簿調査に関すること。
- ・会員名簿の作成。

第7条（支部とその区域）

この会に次の通り支部を設け、その区域は下記の通り定める。

支 部 名	区 域
大 津 支 部	大津市全域・滋賀郡全域
湖 南 支 部	草津市・栗太郡各全域
守山・野洲支部	守山市・野洲郡各全域
甲 賀 支 部	甲賀郡全域
近江八幡支部	近江八幡市全域
中 部 支 部	蒲生郡・八日市市・神崎郡各全域
湖 東 支 部	彦根市・愛知郡・犬上郡各全域
湖 北 支 部	長浜市・坂田郡・東浅井郡・伊香郡各全域
高 島 支 部	高島郡全域

2. 支部は支部規定を自主的に定める。

第8条（役員および役員の選出、任期）

この会に次の役員を置く。

1. 会 長 1名
2. 副会長 1名
3. 理 事 各支部3名

但し大津支部4名（支部長および支部選出は大津支部3名、他支部の選出者は2名）

4. 幹 事 4名（事務局兼務、1名会計）
5. 監 事 2名

2. 役員の選出は次による。

- ・会長および副会長は、役員会において互選する。
 - ・理事は、各支部から選出する。
 - ・監事は、各支部が交替で2名選出する。
3. 役員の仕事は次による。
- ・会長はこの会を代表する。
 - ・副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはこれを代行する。
 - ・理事はこの会の運営に当たる。
 - ・幹事はこの会の事務を処理する。
 - ・監事は会務、会計を監査する。
4. 役員の任期は2年とする。但し再任を妨げない。
- 任期中に辞任および退会したときの後任者は、前任者の残任期間とする。

第9条（総会および臨時総会）

1. 定期総会は年1回会長が召集する。臨時総会は必要に応じ、役員会の議を得て会長が召集する。
2. 定期総会および臨時総会の議長は、出席会員の中より選出する。
3. 議事は、出席会員の過半数によって決する。但し、可否同数の場合は議長の決するところによる。

第10条（総会に付議事項）

定期総会に付議する事項は次の通りとする。

1. 会則の制定、改廃
2. 前年度事業報告と決算報告
3. 本年度の事業計画および予算案
4. その他役員会において必要と認めた事項

第11条（役員会）

役員会は会長が召集して議長となる。

2. 役員会は総会に付議すべき事項のほか、この会の重要事項を審議する。
3. 役員会の議事は過半数によって決する。可否同数のときは議長の決するところによる。
4. 総会に付議すべき事項であっても緊急やむを得ないときは、役員会の議を経て執行することができる。この場合、次の総会に付議し承認を求めなければならない。

第12条（顧問）

本会に顧問を置くことができる。

第13条（経費）

この会の経費は、年会費および寄付金その他の収入をもって賄う。

1. 年会費は1千円とする。

但し、既に終身会費1万円を納入した者を除く。

2. 寄付金およびその他の収入

第14条（会計年度と決算）

この会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終る。

2. 年度終了後、収支を明らかにした決算を作成し、監事の監査を受け総会に報告しなければならない。

第15条（慶弔）

次の通り慶弔を行う。

1. 会員が数えて米寿および白寿を迎えた時、予算の範囲内で記念品を贈呈する。
2. 会員死亡の時、弔意を表する。

付 則

- ・この会則は、平成7年4月1日から適用する。
但し、第7条（支部設置）は、平成8年4月1日より施行する。
- ・昭和55年10月1日公布の会則は、これを廃止する。
- ・この会則は、平成8年5月1日より適用する。

五月末に安倍会長(当時)が逝去された。

六月十一日に九年度の総会が予定されていた。それで、急遽六月四日に、後任会長の選出について支部長会が開かれた。

野中副会長(当時)が規定に準拠して、会長就任に全員が意見一致した。副会長の人選には、意見が有ったが、大津支部長を推す声があり、野中会長のご要請により、門馬支部長が就任する事に両人事は内定した。

時間的制約が有ったので、臨時の役員会は総会の開始前に行われ、正・副会長人事は決定した。

従来、大学と同窓会とは一体として会の運営・会計は大学事務局が当たっていた。会則には幹事四名(事務局兼務、会計一名)となっている。しかし、大学事務局も多忙を極めているので、同窓会の事務一切は会の内部で処理をされたい(その方法が道理である)との、要望は有ったようである。

五月十二日の役員会以来、その意向を受けて会計・会務に就いて異見の発言が有った(それで会の運営は可能か?)

又、会の存続は如何か?)

結局、七月三日の役員会後の支部長会の席上に於いて、財団当局より、同窓会の事務一切は今後大学事務局ではその掌に当たる事がむづかしいと申し渡された。役員の内には不協和感を持った人がいたことは否定しがたい。

これを受けて、今後は役員会で運営することとし、細部については、日を改めて決めることとした。又、以降、会計事務担当者の人選が進められたが決定には至らなかった。それにより、七月二十二日の支部長会で役割が決まった。

執行機関は支部長会とし定期的に開催する。総務・研修・広報・調査の各部分は夫々の部長が年次計画に則り事業を推進する。開催場所も学校内の会議室に限らず交通便の良い場所とした。全理事による役員会は必要の都度、開催することと決定した。

九年度は庶務担当は近江八幡支部長の佐々木氏が当たり、会計は大津支部の事務局が担当することとなった。

七月二十五日に大学事務局で、会計は大津支部の門馬三郎支部長、伊藤実三副支部長が立会い、一応、引き取った。

庶務関係は佐々木氏が受けた。

九月十日の支部長会で、さらに、会計を含めての運営について具体化し、円滑化が計られるようにされた。変革期でも有り、多少の齟齬を来すかも知れないが、会員のご理解を得たい。

我々の同窓会というような、あまりオーダーの無い組織を維持するのは、難しい事である。会や財団の主催の会合に参加することは先ず意義があり、それにはなによりも、それらのニュースを得る事だ。そして、その伝達の徹底がむつかしい。

会員の中には、同窓会の行事の知らせが無かったり、事後に懇意な同期生から、伝達のルート以外から聞いたとかの怒りやクレームをお聞きする。尤もだ。そして会の執行部としては、早く、確実に、しかも経済的に情報を伝えたいし、しなければならぬとは、義務としても考えている。

しかし、県下に散在している、一千七百名の会員に対応するには、大いなる困難を感じる。各支部、その内のプロックの各々の世話役の労力に依存している。支部として、その都度郵送すれば確実だとしても、それには会費をもっともっと、上げなければならぬが、それには皆さんの同意は得られ難い。勢い、役員の方々のサービスの頼らざるを得ない。全会員が日頃より、一番都合の良い受信機能を作っ

ておいて戴きたい。そして、待つだけでは無く、積極的に自分で「お知らせ」を得る様に計らりたい。(レイカディアに関するニュースは県の広報誌にも記載がある)

財団よりの我々の為の情報の配布の依頼がある。これも、担当者としては、処理に迷うこともあった。今後は、その徹底を計る方法を考えねばならぬ。(例えばダイレクトメール等)

我々は二年間、同じく学んできた。その連帯感が同窓会の存在となる。また、その間の一宿一飯の恩義もある。まだまだ日本は義理人情の支配する世間だ。

同窓会に入る、又は途中で退会する、それはその人のお考えだ。それを引き止めたり、責めたりするものではない。会員の米寿・白寿を祝う慶弔規定が有る。米寿者は毎年の総会にて数名おられる。未だ白寿にはお目にかかつてはいない。

我々会員はレイカディア大学での人との出会いを大事にして健康で長寿で有るように、この同窓会も大事にしたいものだ。

(文責 門馬)

滋賀県レイカディア大学卒業生生活動状況調査回答集計表

() 内は割合 [単位：パーセント]

問1 性別

	1 男性	2 女性	無 回 答	合 計
合 計	690 (56)	540 (44)	4 (0)	1,234 (100)

問2 平均年齢

	1 男性	2 女性	合 計
合 計	75	74	74

問3 地域

	1 農 山 漁 村 の 地 域	2 市 住 街 宅 地 域 や 昔 か ら の	3 新 人 し く の 転 入 し て 住 宅 地 域	4 そ の 他	5 無 回 答	合 計
合 計	433 (35)	465 (38)	331 (27)	1 (0)	4 (0)	1,234 (100)

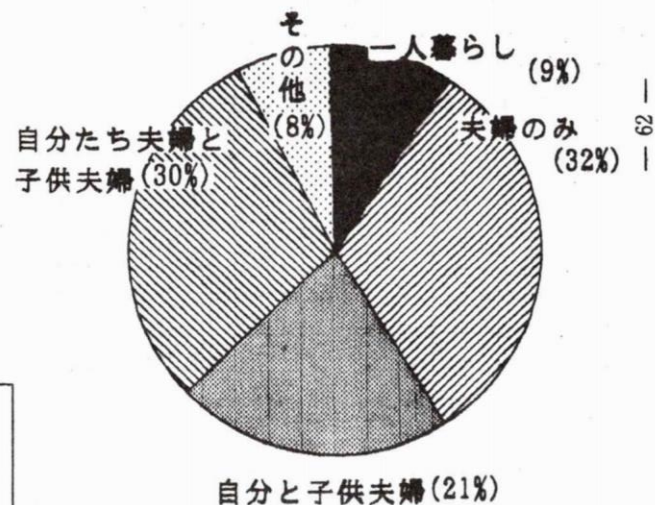
問4 居住年数

	1 10 年 以 内	2 11 年 ～ 30 年	3 31 年 ～ 50 年	4 51 年 以 上	5 無 回 答	合 計
合 計	74 (6)	297 (24)	270 (22)	571 (46)	4 (2)	1,234 (100)

問5 居住形態

	1 一 人 ぐ ら し	2 自 分 た ち 夫 婦 の み	3 自 分 と 子 孫 と 子 供 夫 婦	4 自 分 と 子 孫 を 含 む 夫 婦 と 子 供 夫 婦	5 そ の 他	6 無 回 答	合 計
合 計	113 (9)	393 (32)	264 (21)	365 (30)	94 (8)	5 (0)	1,234 (100)

居住形態



問6 老人クラブとのかかわり

	1 加いつも参加	2 加ときどき参加	3 加ほとんど参加	4 かつては加入	5 加い入ないで	6 無回答	合計
合計	786 (64)	198 (16)	70 (6)	43 (3)	132 (11)	5 (0)	1,234 (100)

問7 卒業期数・選択学科

[1] 卒業期数

1. 大津校・草津校

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	無回答	合計
合計	17 (2)	16 (2)	30 (4)	18 (2)	35 (4)	46 (5)	50 (6)	60 (7)	59 (7)	63 (8)	71 (8)	71 (9)	59 (7)	80 (10)	77 (9)	89 (11)	- (-)	841

2. 米原校

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	無回答	合計
合計	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	70 (18)	45 (11)	63 (16)	62 (16)	73 (19)	75 (19)	5 (1)	393

[2] 選択学科

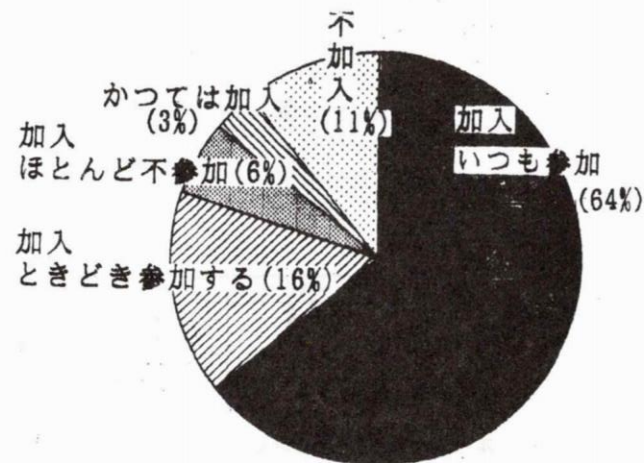
1. 大津校・草津校

	1 園芸学科	2 陶芸学科	3 生活福祉科学学科を含む	4 文芸古文学科を含む	5 スリポエーリーツシ・ヨレンク学科	6 無回答	合計
合計	228 (27)	162 (19)	195 (23)	242 (29)	13 (2)	1 (0)	841 (100)

1. 米原校

	1 園芸学科	2 陶芸学科	3 生活福祉科学学科を含む	4 文芸古文学科を含む	5 スリポエーリーツシ・ヨレンク学科	6 無回答	合計
合計	105 (27)	- (-)	105 (27)	95 (24)	84 (21)	4 (1)	393 (100)

老人クラブとのかかわり



問8 入学の動機

	1 地 域 の リ ー ダ ー と し て	2 幅 広 い 知 識 ・ 教 養 を 身 に	3 園 芸 、 陶 芸 等 の 専 門 的 な	4 幅 広 い 人 間 関 係 を 求 め て	5 近 大 学 生 の 方 が 楽 し い カ デ ィ ア	6 健 康 の 維 持 の た め	7 余 暇 の 有 効 利 用	8 そ の 他	9 無 回 答	合 計
合 計	285 (9)	904 (28)	353 (11)	752 (24)	105 (3)	353 (11)	365 (12)	57 (2)	- (-)	3,174

問9 現在の活動参加状況

	1 リ ー ダ ー と し て 参 加	2 参 加 し て い る が な い	3 か と 今 つ つ は 参 加 し て い な い	4 参 加 し て い な い	5 無 回 答	合 計
合 計	443 (36)	346 (28)	240 (19)	187 (15)	18 (2)	1,234

問10 問9-1. 2. 3. に回答

[1] 活動の具体的な内容

	1 公・教 民館 等 の 学 習	2 ス ポ ー ツ 活 動 や 生 涯	3 社 会 福 祉 に 関 わ る 活 動	4 地 域 に 関 わ る 活 動 や 町 づ み	5 地 域 の 文 化 財 や 伝 統 を	6 子 育 成 に 関 わ る 活 動	7 自 然 保 護 や 環 境 保 全	8 共 同 購 入 ・ リ サ イ ク ル	9 シ ル バ ー 人 材 セ ン タ ー	10 農 協 や 商 工 団 体 な ど	11 自 治 会 の 活 動 や	12 国 際 交 流 に 関 わ る 活 動	13 シ ニ ア リ ー ダ ー	14 そ の 他	15 無 回 答	合 計
合 計	537(17)	402(13)	424(14)	217(7)	179(6)	134(4)	111(4)	48(2)	113(4)	46(1)	702(23)	42(1)	51(2)	46(1)	42(1)	3,094

[2] 活動のきっかけ

	1	2	3	4	5	6	7	8	合 計
	以前から活動していたグループ	大学の必修講座で刺激を受けた	大学の選択講座で学んだ	グループで得た活動仲間と共に行く	大学卒業後に地域の仲間	大学卒業後に地域の仲間	その他	無回答	
合計	639 (38)	225 (13)	219 (13)	192 (11)	142 (8)	115 (7)	25 (1)	146 (9)	1,703

問11 問9-3.4.に回答

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	合 計
	健康に自信がない	家庭の人事・家事・仕事	地域の法が仲間あづかり	老自付人治会クアなどが地域との	参加の呼びかけ	地の城情で報が活動するたない	共に城に動いするい友人が	以前あるもて興味に取がな心組い	自分のびりとして	その他	無回答	
合計	158 (22)	86 (12)	11 (2)	28 (4)	26 (4)	23 (3)	64 (9)	88 (12)	122 (17)	53 (7)	52 (7)	711

問12 必修講座で、特に役に立った分野

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	合 計
	時事問題	経済問題	環境・資源問題	社会保障	人権と福祉	高齢者と法律	保健・体育	精神保健	高齢社会の諸問題	家族問題	幸福・生きがい	ボランティア	生活と宗教	郷土の自然	郷土の歴史と地理	郷土の文化・芸術	生涯学習と高齢者	指導 レクリエーション	学校行事	その他	無回答	
合計	359 (10)	91 (2)	86 (2)	47 (1)	144 (4)	88 (2)	164 (4)	78 (2)	420 (11)	74 (2)	456 (12)	159 (4)	134 (4)	83 (2)	266 (7)	206 (6)	457 (12)	72 (2)	197 (5)	17 (0)	81 (2)	3,679

問13 レイカディア大学の感想・評価

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合 計
	必修講座の学習が	役割立っての学習が	忙しなかったが多くて	文運役立っての祭法を体育祭等	幅が広がった関係の	いをよる開かっ た内容がな て先生ら の話を	講座内容が 期待しな い	講座の内容が 理解でき なかった	その他	無回答	
合計	718 (19)	756 (20)	21 (1)	135 (4)	974 (26)	949 (26)	40 (1)	55 (1)	32 (1)	36 (1)	3,716

問14 今後、さらに充実すべき事柄

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合 計
	必修講座	選択講座	文化祭などの学校行事	実習・実技や校外学習	琵琶湖の環境に関する講義	介護・福祉・健康に関する講義	仲間づくりの実践的な地域学習	その他	無回答	
合計	598 (18)	522 (16)	185 (6)	389 (12)	569 (17)	480 (15)	457 (14)	36 (1)	75 (2)	3,311

問15 地域で、高齢者の生きがいづくり・健康づくりが活発になる条件

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合 計
	地域情報生が いきいき・健康 づくり	高齢者の世代 交流を促進する 年層	地域活動が活 発になるポ テンチ	公民館などで 生涯学習事	さらなる活 性化老人 クラブの	地域生が仲 間づくりを 進める	高齢者が身 近に集ま れる	指導者がい ること	活動の自由 に選べる や	健康に恵ま れている こと	家族の理 解がある こと	誘いあ える仲 間がい ること	その他	無回答	
合計	294 (8)	233 (6)	216 (6)	393 (11)	341 (9)	231 (6)	397 (11)	213 (6)	55 (2)	633 (17)	178 (5)	388 (11)	13 (0)	56 (2)	3,641



■ あ と が き ■

昨年度十五周年記念誌に続いての本年度誌は、当初より縮小してと云うことで総会の席上でもお願い致しました通り、各支部毎の活動状況をご報告戴き、今後、支部運営の参考になれば幸いと存じます。

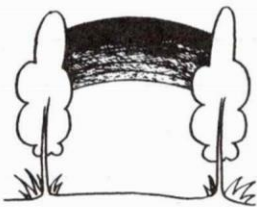
学校長始め関係各位には、公私何かとご多用の中でご投稿を戴きましたこと厚くお礼申し上げます。

本誌をお借り致しまして、昨年発行の会員名簿の誤記載がありましたので、訂正と逝去並びに脱会者の削除を正誤表に掲載させて戴きましたので、お手許の名簿の訂正をよろしくお願い申し上げます。

十八期生卒業で同窓会に入会いただいた方の名簿も一覧表で掲載致しましたので、各支部の会員仲間へお伝え下さいますようお願い致します。

なお、支部長、広報部諸氏のご協力感謝申し上げます。

(広報部長 木 俣 信 一)



滋賀県レイカディア大学同窓会

会 報 15 号

発 行 平成9年11月

編 集 滋賀県レイカディア大学同窓会
同窓会事務局

草津市南笠町新池110-1

